

令和 6 年度
袋井市日本語使用等状況調査
結果報告書

令和 7 年 3 月

袋井市

目次

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況（インターネット回答を含む。）	1
6 調査結果の表示方法	1
II 調査結果	2
1 あなた自身について	2
2 日本語学習について	11
3 日本語の今のレベルと理想のレベルについて	24
4 あなたの今後について	30
III 調査結果のまとめと今後の方向性	34
IV 考察	36
V 資料（調査票）	40

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、市内外国籍市民の日本語使用状況などを聞き、日本語教育の視点から見た今後の多文化共生施策の推進に向けた基礎資料として活用するために実施いたしました。

2 調査対象

市内在住の16歳以上の外国籍の方1,500人を無作為抽出

3 調査期間

令和6年7月12日～令和6年7月31日（20日間）

4 調査方法

- ・ 郵送により調査票を配布
- ・ 郵送による回答及びインターネットによる回答

5 回収状況（インターネット回答を含む。）

- ・ 配布数 1,500件
- ・ 有効回収数 401件（26.7%）
うち郵送189件（12.6%）、インターネット212件（14.1%）
※インターネットによる回答は、回答全体（401件）の52.9%を占めました。

6 調査結果の表示方法

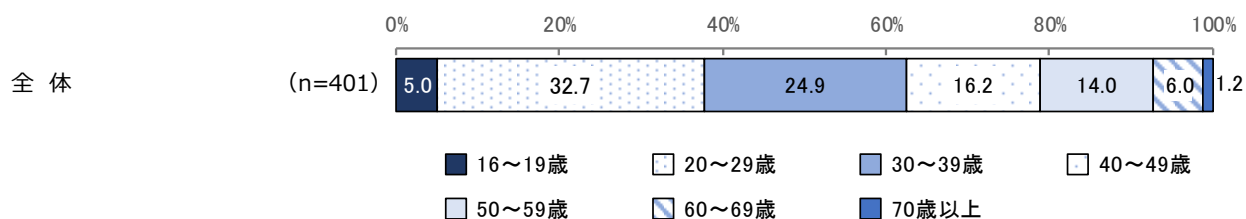
- ・ グラフに表示されているn値は有効回答数です。
- ・ 集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、内訳の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

II 調査結果

1 あなた自身について

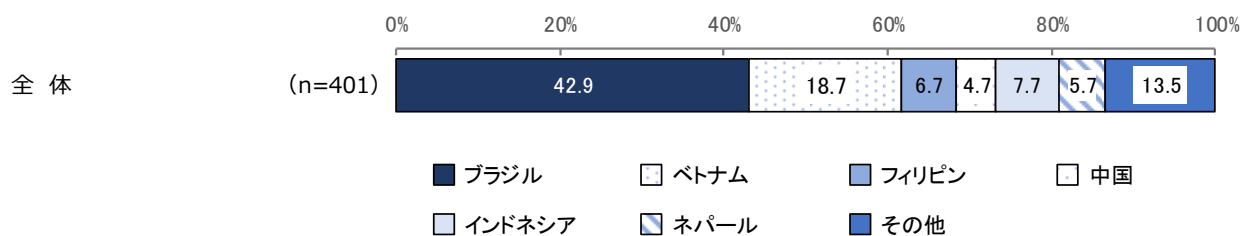
質問1 あなたは、いま何歳ですか。(〇は1つ)

年齢では、「20～29歳」32.7%が最も高く、以下「30～39歳」24.9%、「40～49歳」16.2%、「50～59歳」14.0%、「60～69歳」6.0%、「16～19歳」5.0%となっています。



質問2 あなたの国籍はどれですか。(〇は1つ)

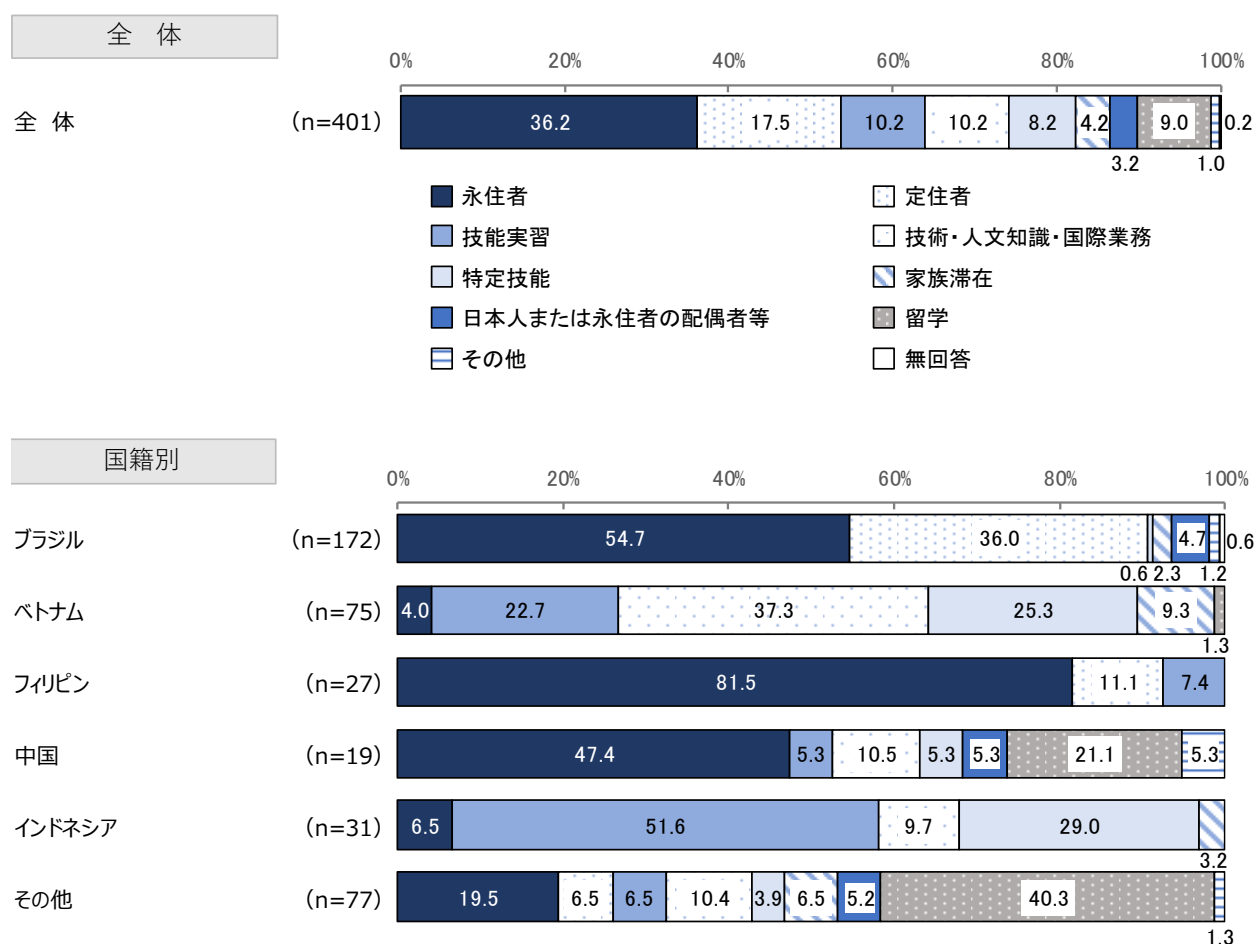
国籍では、「ブラジル」42.9%が最も高く、以下「ベトナム」18.7%、「インドネシア」7.7%、「フィリピン」6.7%、「ネパール」5.7%、「中国」4.7%、「その他」13.5%となっています。



質問3 あなたの在留資格はどれですか。在留カードを見て教えてください。(〇は1つ)

在留資格では、「永住者」36.2%が最も高く、以下「定住者」17.5%、「技能実習」と「技術・人文知識・国際業務」10.2%と続きます。全体のうち、居住資格（永住者、定住者、日本人または永住者の配偶者等）が56.9%を、就労資格（技能実習、技術・人文知識・国際業務、特定技能）が28.6%を占めています。

国籍別でみると、ブラジル、フィリピン、中国では「永住者」の割合が最も高くなっています。ベトナムでは「技術・人文知識・国際業務」、インドネシアでは「技能実習」の割合が最も高くなっています。



【参考】『平成30年度 袋井市 多文化共生に関する市民意識・外国人市民実態調査』より

設問 あなたの在留資格はどれですか。

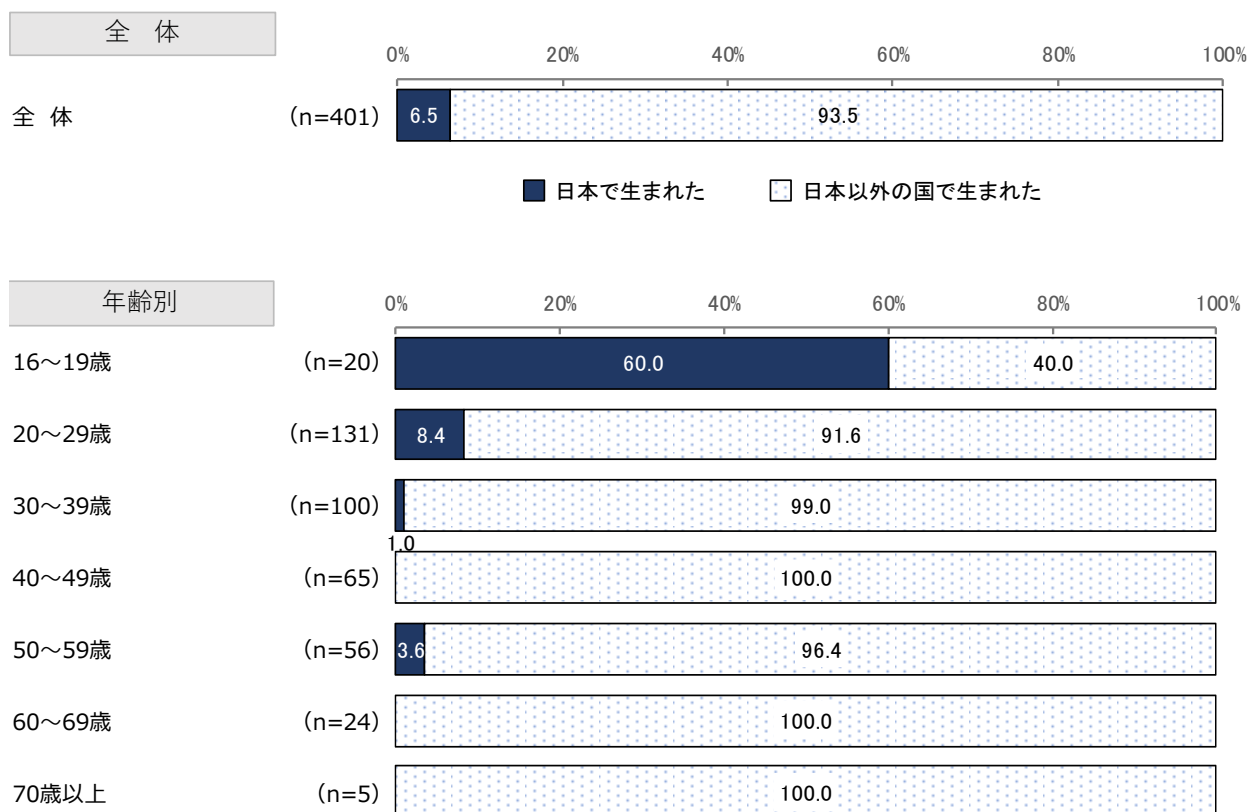


※平成30年度調査の「日本人の配偶者」「永住者の配偶者」は合算して「日本人または永住者の配偶者等」として集計しました。

「技術・人文知識・国際業務」「特定技能」「家族滞在」は令和6年度調査から追加しました。

質問4 あなたは日本で生まれましたか。(〇は1つ)

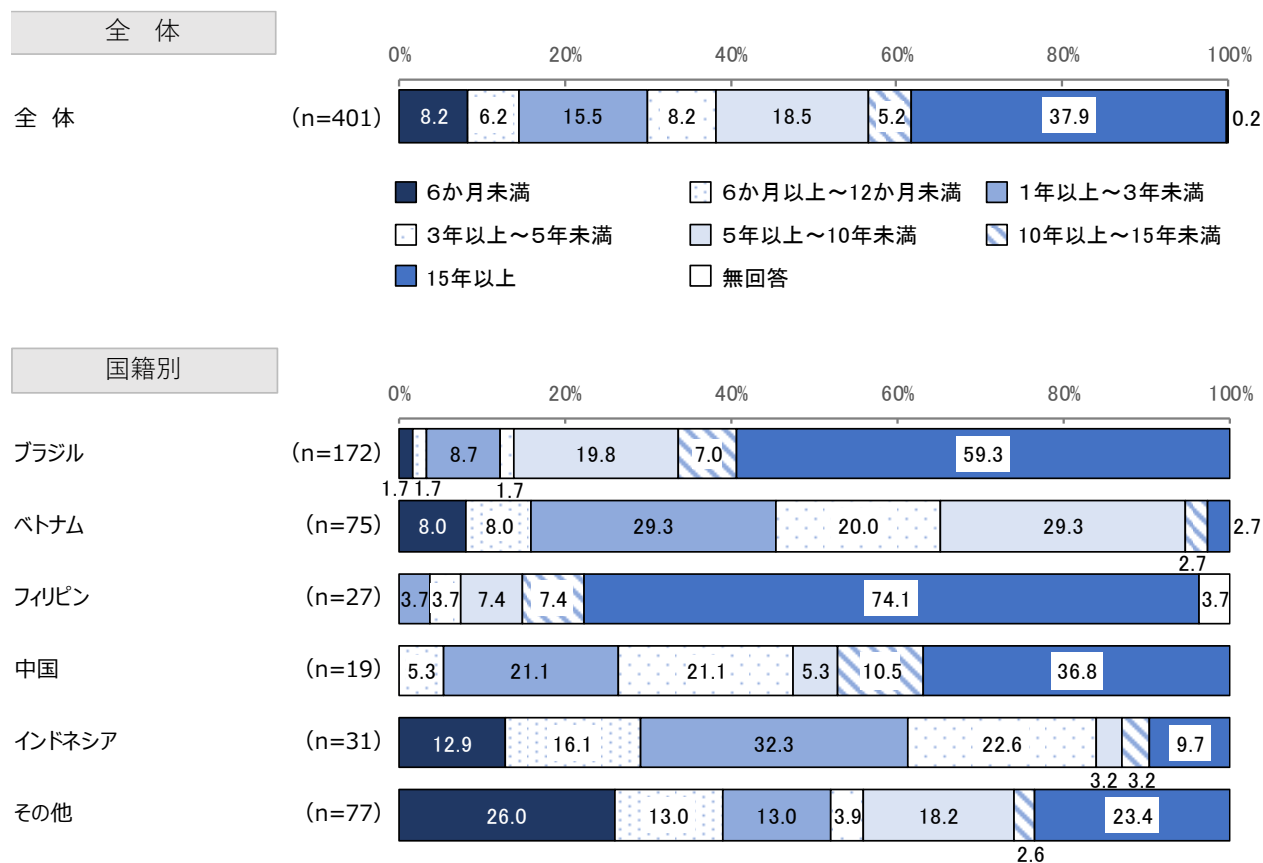
日本で生まれたかについては、「日本で生まれた」6.5%、「日本以外の国で生まれた」93.5%となっています。
年齢別でみると、16～19歳では「日本で生まれた」が60%と高くなっています。



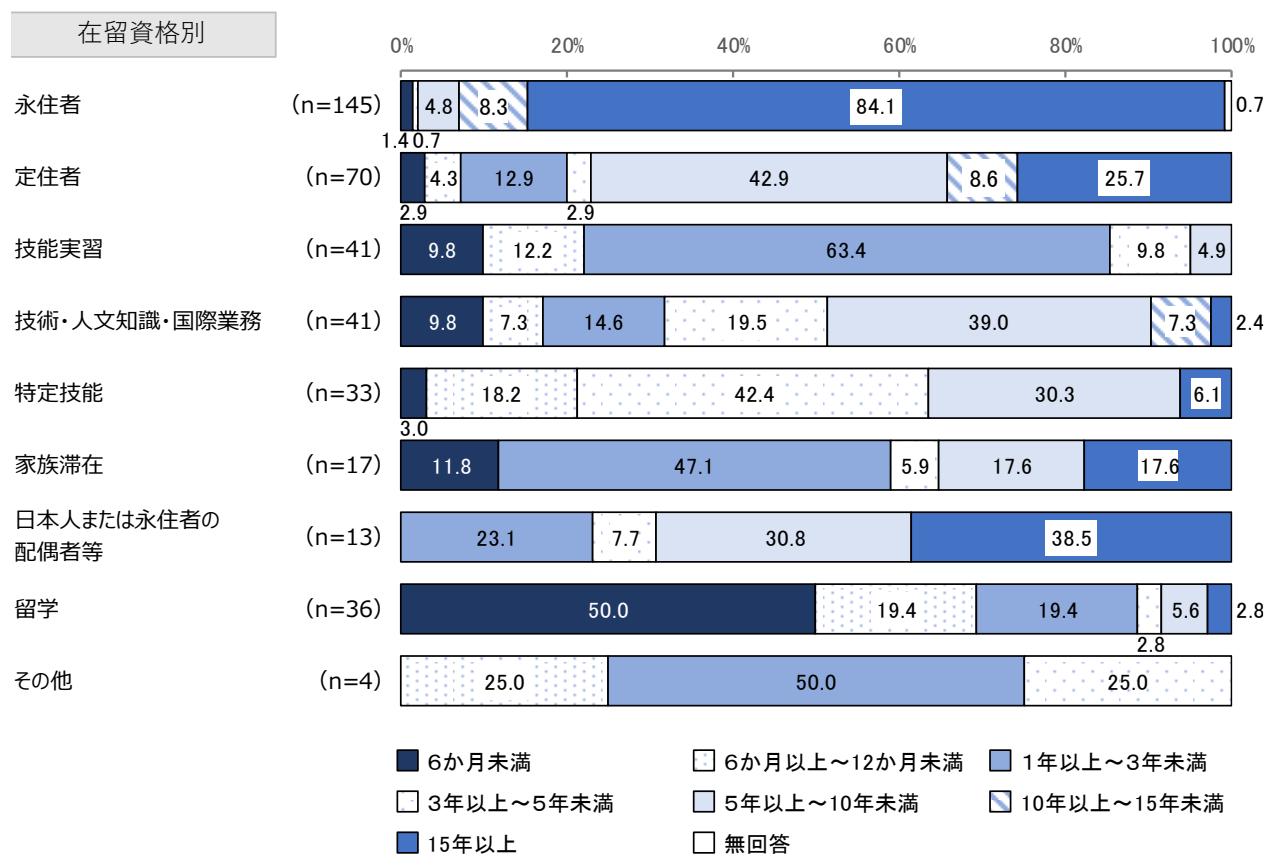
質問5 あなたはどのくらい日本で生活していますか。日本から離れた期間がある場合は、その期間を抜いて教えてください。(〇は1つ)

日本在住歴では、「15年以上」37.9%が最も高く、以下「5年以上～10年未満」18.5%、「1年以上～3年未満」15.5%と続きます。全体のうち「5年未満」は38.1%を、「5年以上」は61.6%を占めています。

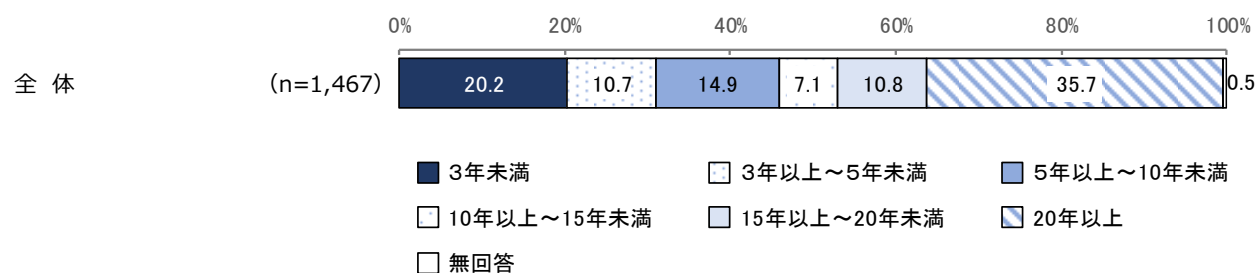
国籍別でみると、ブラジル、フィリピン、中国では「15年以上」の割合が、インドネシアでは「1年以上～3年未満」の割合が最も高くなっています。



在留資格別でみると、永住者と日本人または永住者の配偶者等では「15年以上」が、定住者と技術・人文知識・国際業務では「5年以上～10年未満」が、特定技能では「3年以上～5年未満」が、技能実習と家族滞在では「1年以上～3年未満」が、最も高くなっています。

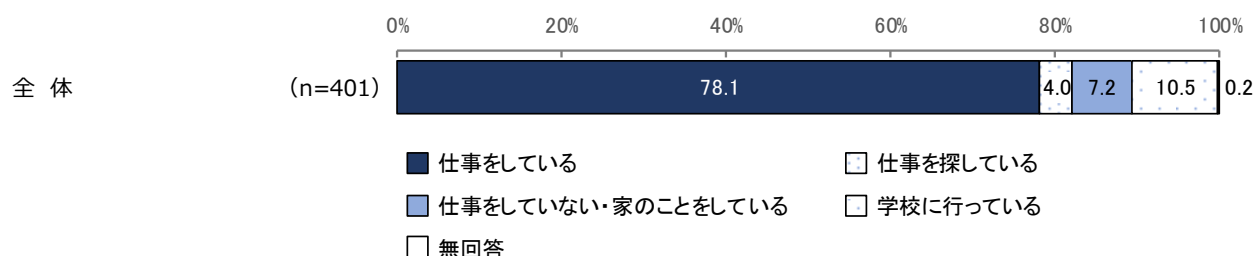


【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より
設問 日本でくらしの期間



質問6 あなたは仕事をしていますか。または、学校に行っていますか。(○は最も当てはまるものの1つだけ)

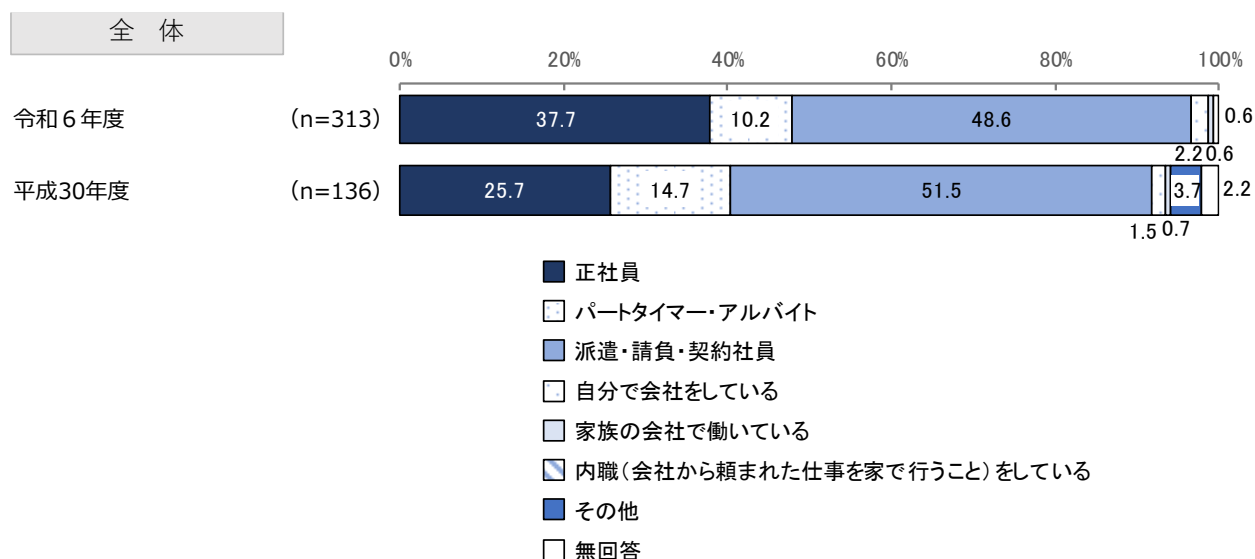
就労状況では、「仕事をしている」78.1%が最も高く、以下「学校に行っている」10.5%、「仕事をしていない・家のことをしている」7.2%、「仕事を探している」4.0%となっています。



(質問6で「1. 仕事をしている」と答えた方)

質問7 あなたの仕事は、次のどれですか。(○は最も当てはまるものの1つだけ)

仕事の就業形態では、「派遣・請負・契約社員」48.6%が最も高く、以下「正社員」37.7%、「パートタイマー・アルバイト」10.2%と続きます。平成30年度と比較して「正社員」の割合が増え、「派遣・請負・契約社員」の割合が減っています。

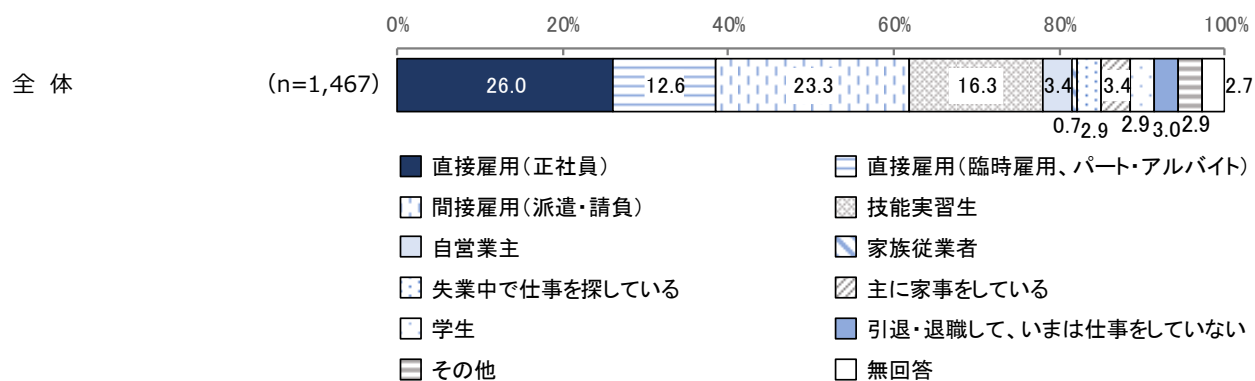


※平成30年度調査の「派遣会社を通して働いている」は「派遣・請負・契約社員」、「私の店や会社をもっている」は「自分で会社をしている」、「家族の店や会社で働いている」は「家族の会社で働いている」としました。

「内職(会社から頼まれた仕事を家で行うこと)をしている」は令和6年度調査から追加しました。

【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より

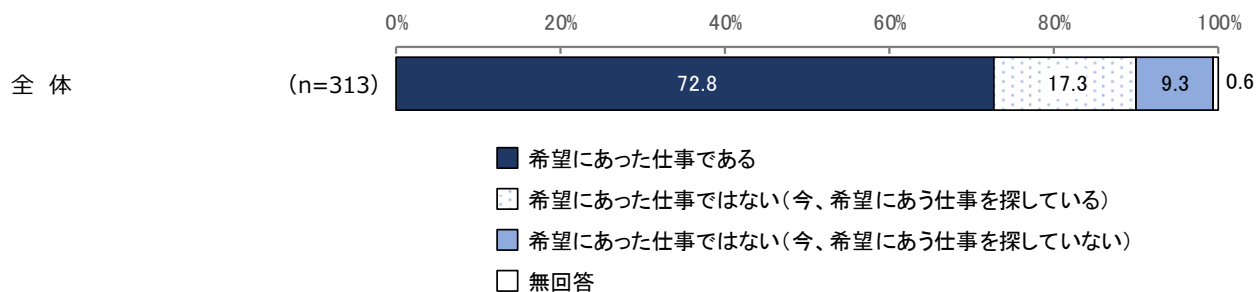
設問 あなたの今の仕事は大きく分けてこの中のどれにあたりますか。2つ以上の仕事を持つ人は、多いほうの仕事を教えてください。



(質問6で「1. 仕事をしている」と答えた方)

質問8 今の仕事は、あなたの希望にあった仕事ですか。(○は1つ)

現在の仕事は希望にあった仕事かについては、「希望にあった仕事である」72.8%、「希望にあった仕事ではない」26.6%となっています。

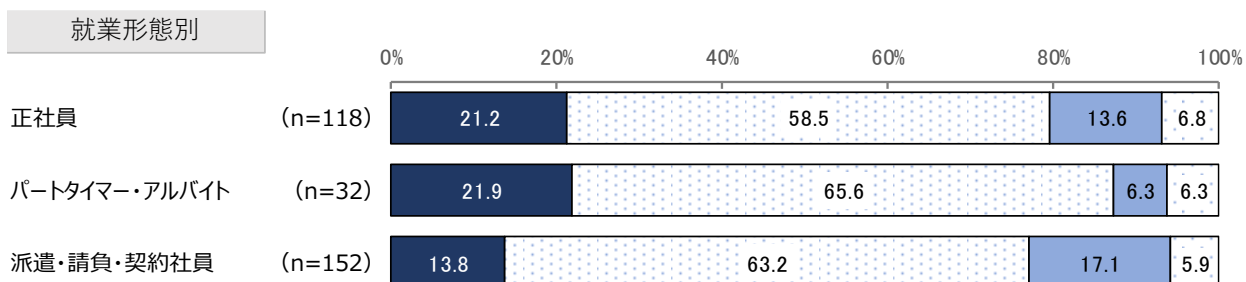
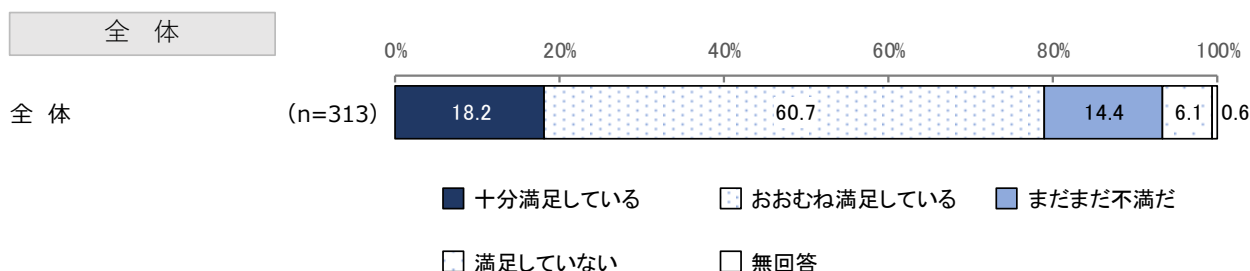


(質問6で「1. 仕事をしている」と答えた方)

質問9 今の仕事の満足度は、次のどれですか。(○は1つ)

現在の仕事の満足度については、「おおむね満足している」60.7%と「十分満足している」18.2%を合わせた「満足している」が78.9%となっています。

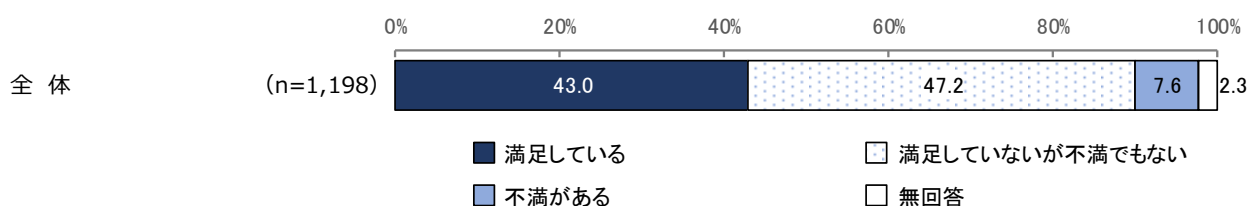
就業形態別でみると、正社員、パートタイマー・アルバイト、派遣・請負・契約社員では「おおむね満足している」が5割以上を占めていますが、派遣・請負・契約社員では「まだまだ不満だ」が他と比べて高くなっています。



※就業形態の「自分で会社をしている」「家族の会社で働いている」「内職をしている」は該当者が少ないため省略しました。

【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より

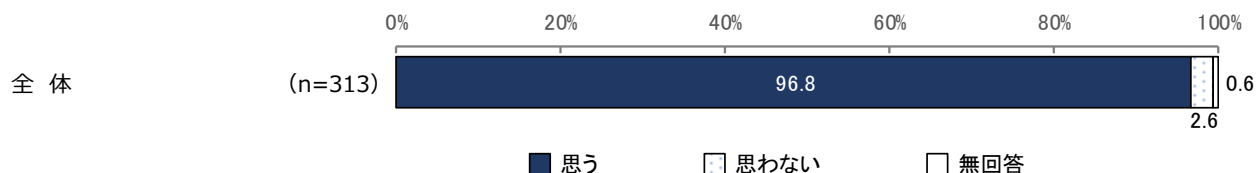
設問 今の働き方に満足していますか。



(質問6で「1. 仕事をしている」と答えた方)

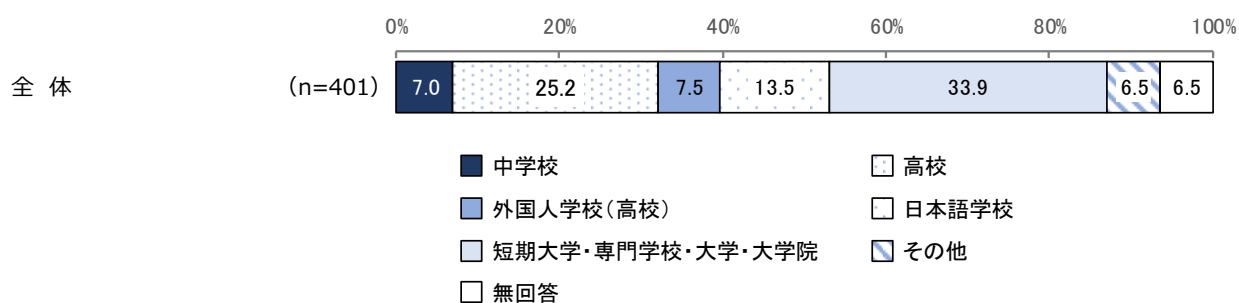
質問10 これからも、あなたは日本で働きたいと思いますか。(○は1つ)

これからも日本で働きたいかについては、「思う」96.8%、「思わない」2.6%となっています。



質問11 あなたが、今通っている学校または最後に通った学校（最終学歴）は、次のどれですか。(○は1つ)

最終学歴では、「短期大学・専門学校・大学・大学院」33.9%が最も高く、以下「高校」25.2%、「日本語学校」13.5%、「外国人学校（高校）」7.5%、「中学校」7.0%、「その他」6.5%となっています。

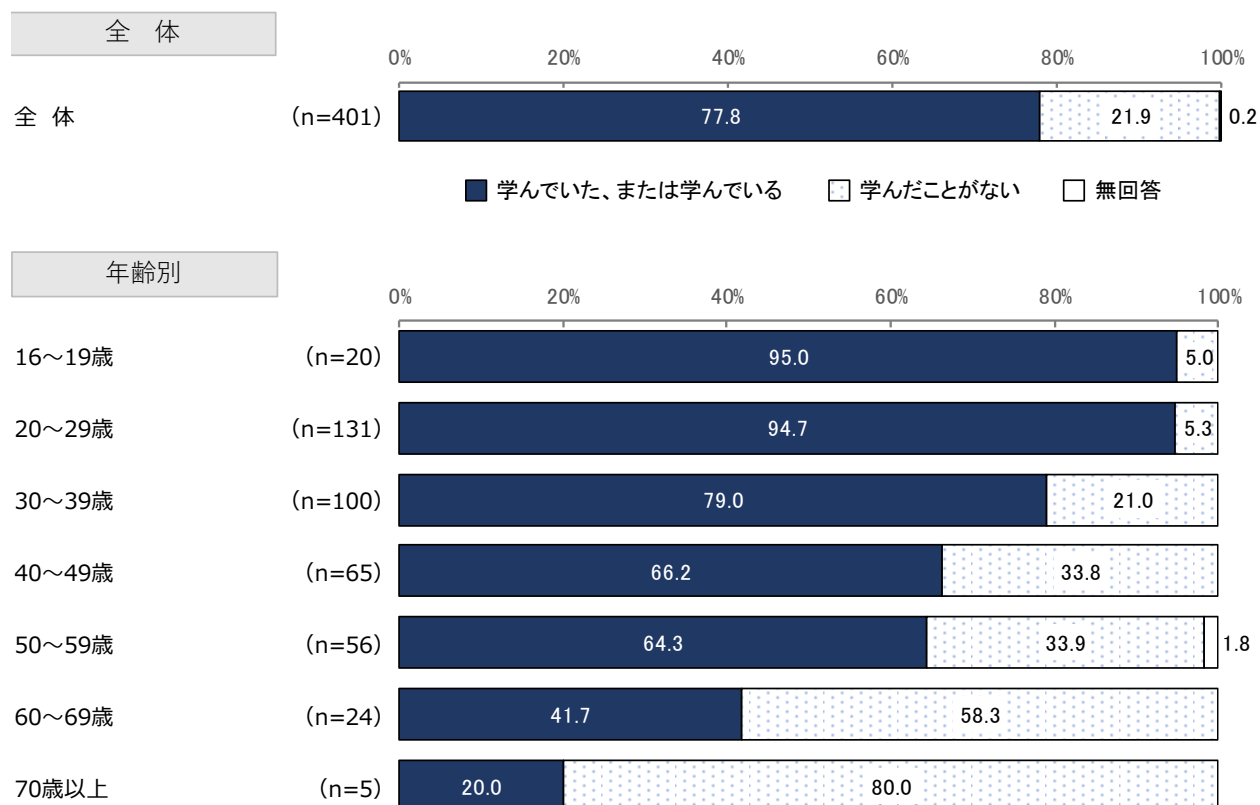


2 日本語学習について

問12 あなたは日本語を学んだことがありますか。(○は1つ)

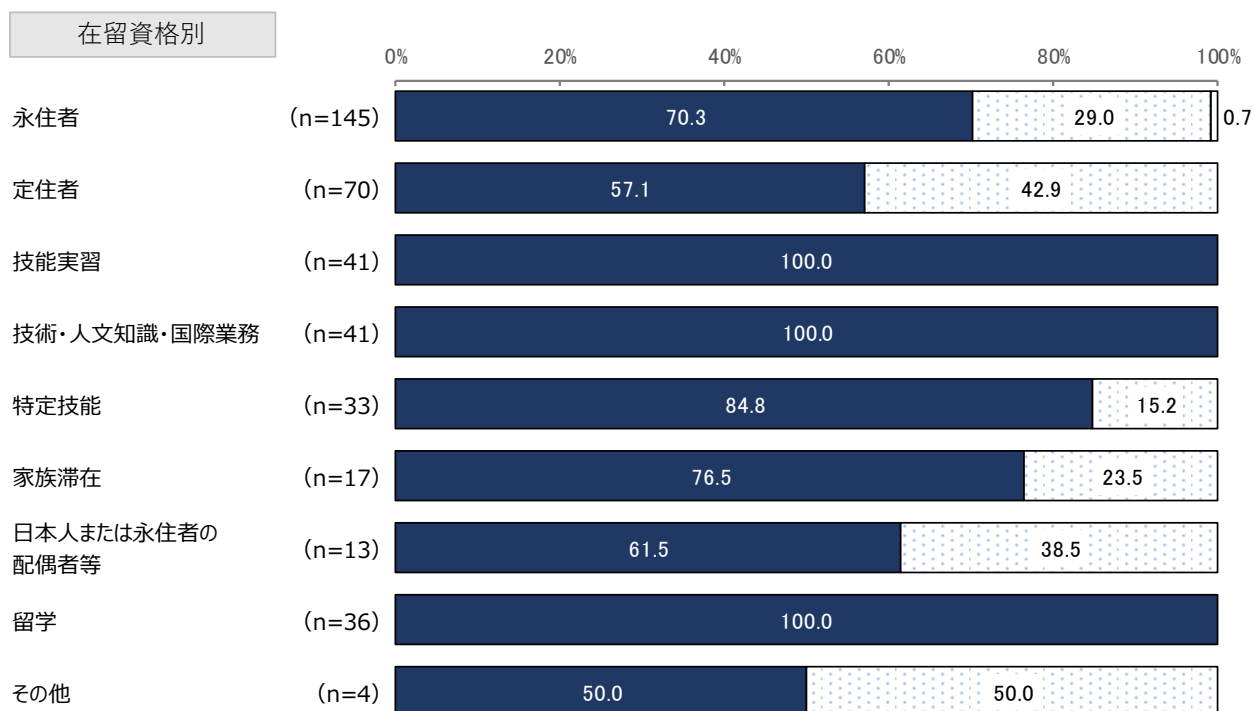
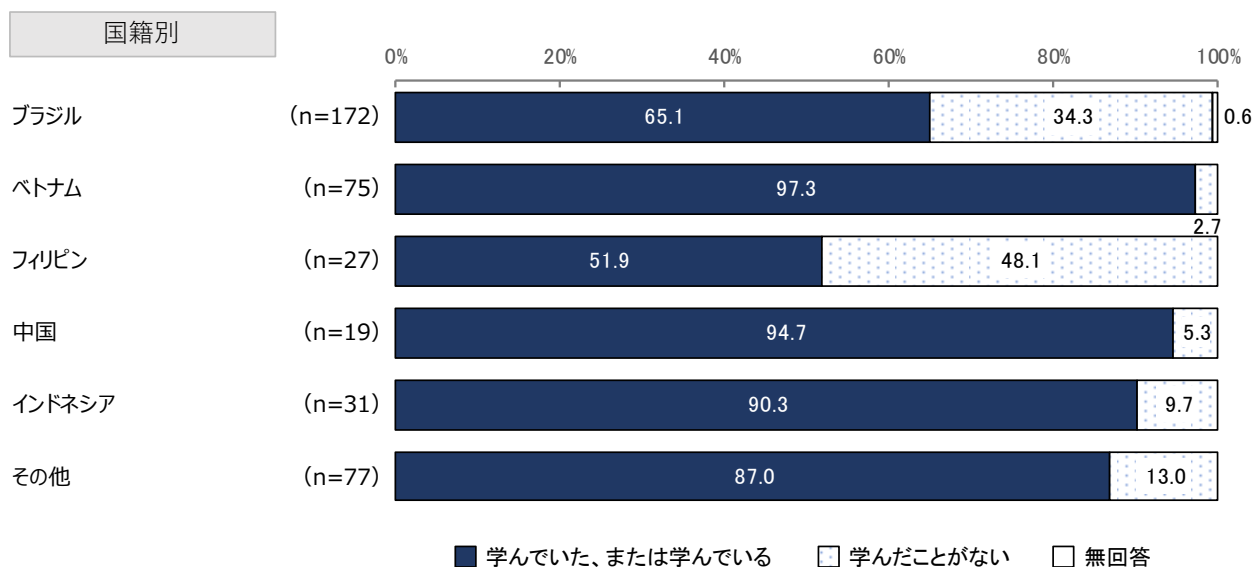
日本語を学んだことがあるかについては、「学んでいた、または学んでいる」77.8%、「学んだことがない」21.9%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるほど「学んでいた、または学んでいる」の割合が低くなっています。29歳以下では「学んでいた、または学んでいる」が9割以上と高くなっています。



国籍別でみると、ベトナム、中国、インドネシアでは「学んでいた、または学んでいる」が9割以上となっています。一方、ブラジル、フィリピンでは「学んだことがない」が他の国籍に比べて高くなっています。

在留資格別でみると、技能実習、技術・人文知識・国際業務、留学では「学んでいた、または学んでいる」が100.0%となっています。一方、永住者、定住者、日本人または永住者の配偶者等では「学んだことがない」が他の在留資格に比べて高くなっています。

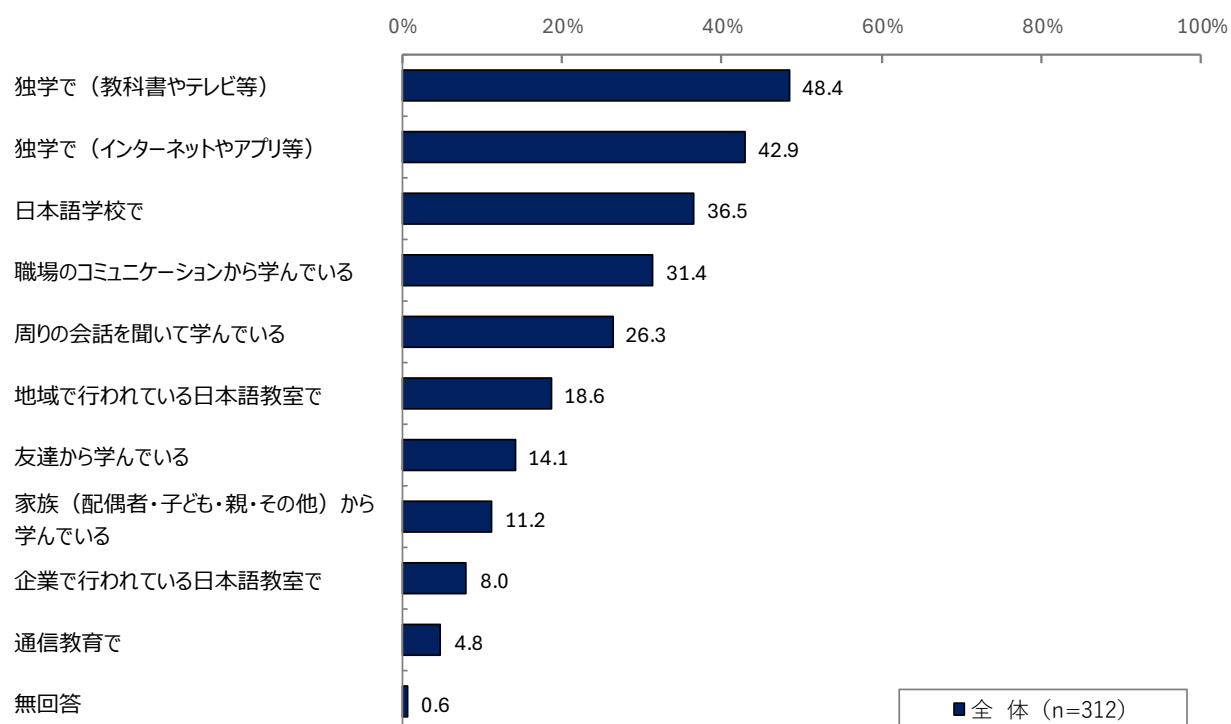


(質問12で「1.学んでいた、または学んでいる」と答えた方)

質問13 あなたは、どうやって日本語を学びましたか、または学んでいますか。

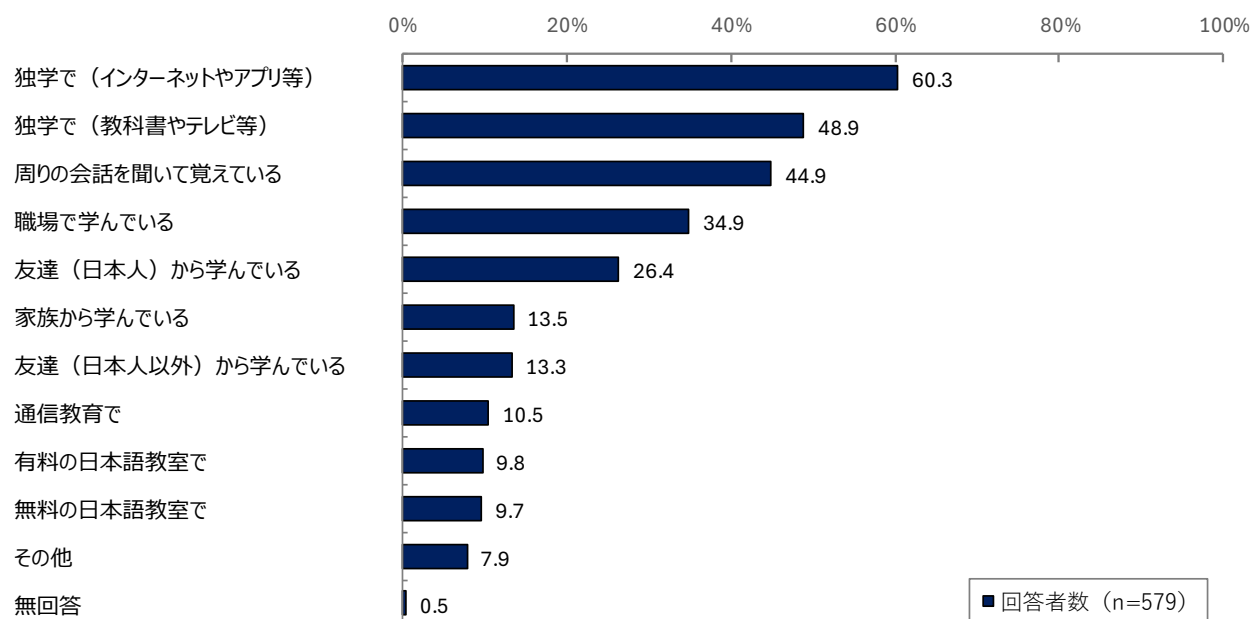
(当てはまる番号すべてに○)

日本語の学習方法では、「独学で（教科書やテレビ等）」48.4%が最も高く、以下「独学で（インターネットやアプリ等）」42.9%、「日本語学校で」36.5%と続きます。



【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より

設問 あなたは今、どうやって日本語を学んでいますか。

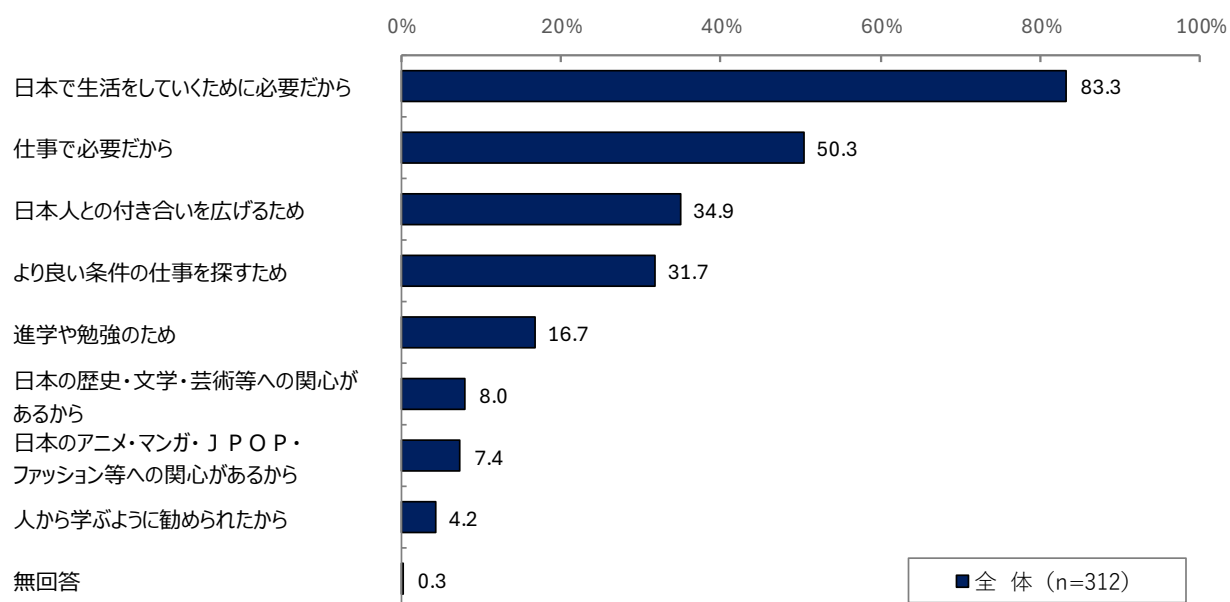


(質問12で「1. 学んでいた、または学んでいる」と答えた方)

質問14 日本語を学んでいた、または学んでいるのはなぜですか。

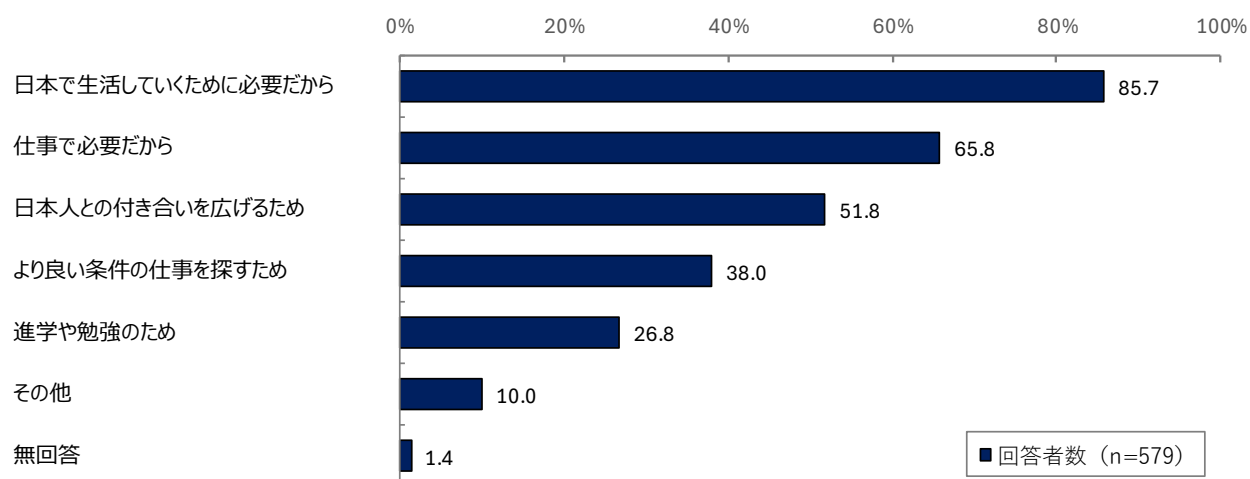
(○は最も当てはまるもの3つまで)

日本語の学習目的、理由については、「日本で生活をしていくために必要だから」83.3%が最も高く、以下「仕事で必要だから」50.3%、「日本人との付き合いを広げるため」34.9%と続きます。



【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より

設問 あなたは何のために日本語を学んでいますか。



年齢別でみると、全ての年齢において「日本で生活をしていくために必要だから」が最も高くなっています。20～39歳、60～69歳では「仕事で必要だから」が、40～59歳では「日本人との付き合いを広げるため」が2番目に高くなっています。20～39歳では「日本のアニメ・マンガ・JPOP・ファッション等への関心があるから」が他の年齢に比べ高くなっています。

国籍別でみると、いずれの国籍も「日本で生活をしていくために必要だから」が最も高くなっています。ベトナムとインドネシアでは「仕事で必要だから」が6割以上と他の国籍に比べて高くなっています。

【年齢別】

単位：％

	調査数	日本で生活をしていくために必要だから	日本人との付き合いを広げるため	仕事で必要だから	より良い条件の仕事を探すため	進学や勉強のため	日本のアニメ・マンガ・JPOP・ファッション等への関心があるから	日本の歴史・文学・芸術等への関心があるから	人から学ぶように勧められたから	無回答
16～19歳	19	94.7	36.8	31.6	31.6	36.8	5.3	5.3	5.3	0.0
20～29歳	124	75.0	28.2	54.0	29.8	20.2	9.7	9.7	1.6	0.0
30～39歳	79	91.1	32.9	59.5	41.8	10.1	12.7	10.1	6.3	0.0
40～49歳	43	93.0	48.8	37.2	30.2	11.6	0.0	2.3	7.0	0.0
50～59歳	36	86.1	44.4	44.4	27.8	13.9	0.0	8.3	0.0	2.8
60～69歳	10	50.0	30.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
70歳以上	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【国籍別】

単位：％

	調査数	日本で生活をしていくために必要だから	日本人との付き合いを広げるため	仕事で必要だから	より良い条件の仕事を探すため	進学や勉強のため	日本のアニメ・マンガ・JPOP・ファッション等への関心があるから	日本の歴史・文学・芸術等への関心があるから	人から学ぶように勧められたから	無回答
ブラジル	112	92.0	43.8	43.8	35.7	10.7	2.7	1.8	4.5	0.0
ベトナム	73	90.4	24.7	65.8	34.2	5.5	9.6	11.0	1.4	0.0
フィリピン	14	92.9	50.0	50.0	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1
中国	18	88.9	38.9	38.9	22.2	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0
インドネシア	28	71.4	50.0	60.7	35.7	21.4	17.9	10.7	3.6	0.0
その他	67	62.7	20.9	43.3	29.9	37.3	4.5	17.9	7.5	0.0

在留資格別でみると、いずれの在留資格も「日本で生活をしていくために必要だから」が最も高くなっています。永住者と定住者では「日本人との付き合いを広げるため」が他の在留資格に比べ高くなっています。

【在留資格別】

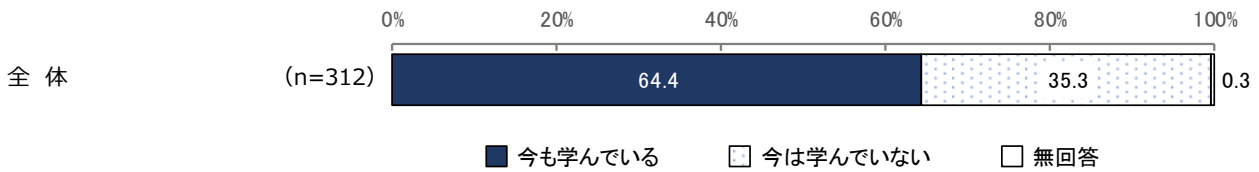
単位：％

	調査数	日本で生活をしていくために必要だから	日本人との付き合いを広げるため	仕事で必要だから	より良い条件の仕事を探すため	進学や勉強のため	日本のアニメ・マンガ・ＪＰＯＰ・ファッション等への関心があるから	日本の歴史・文学・芸術等への関心があるから	人から学ぶように勧められたから	無回答
永住者	102	89.2	44.1	41.2	24.5	13.7	4.9	2.9	3.9	1.0
定住者	40	95.0	50.0	37.5	45.0	10.0	0.0	2.5	7.5	0.0
技能実習	41	78.0	41.5	65.9	24.4	12.2	4.9	7.3	7.3	0.0
技術・人文知識・国際業務	41	82.9	22.0	68.3	39.0	9.8	17.1	17.1	0.0	0.0
特定技能	28	92.9	21.4	64.3	28.6	10.7	14.3	7.1	0.0	0.0
家族滞在	13	84.6	38.5	84.6	30.8	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0
日本人または永住者の配偶者等	8	75.0	37.5	50.0	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0
留学	36	55.6	11.1	25.0	38.9	52.8	8.3	22.2	5.6	0.0
その他	2	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（質問12で「1. 学んでいた、または学んでいる」と答えた方）

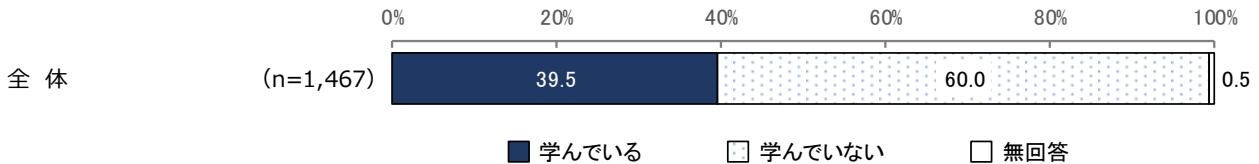
質問15 今も日本語を学んでいますか。（○は1つ）

今も日本語を学んでいるかについては、「今も学んでいる」64.4%、「今は学んでいない」35.3%となっています。



【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より

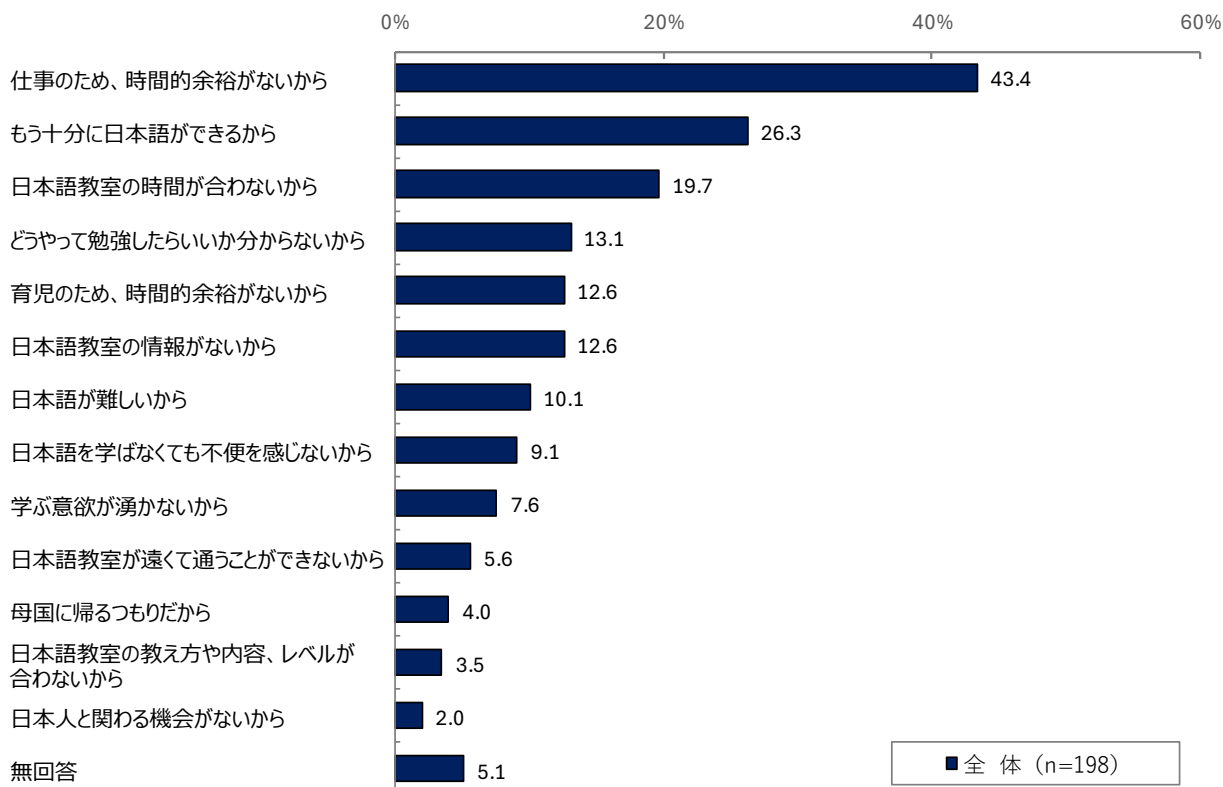
設問 あなたは、今、日本語を学んでいますか。



(質問12で「2. 学んだことがない」と答えた方および質問15で「2. 今は学んでいない」と答えた方)

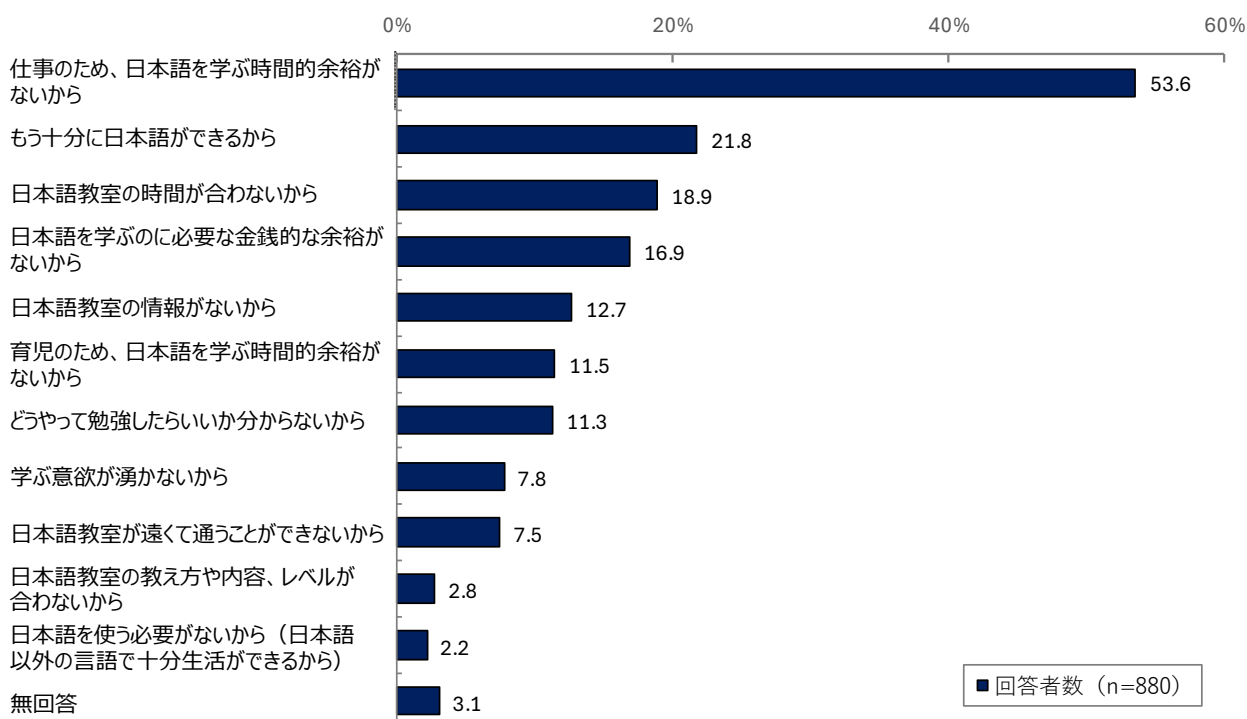
質問16 今、日本語を学んでいないのはなぜですか。(〇は最も当てはまるもの3つまで)

今、日本語を学んでいない理由については、「仕事のため、時間的余裕がないから」43.4%が最も高く、以下「もう十分に日本語ができるから」26.3%、「日本語教室の時間が合わないから」19.7%と続きます。



【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より

設問 いま学んでいないのはなぜですか。



国籍別でみると、ブラジル、ベトナム、インドネシアでは「仕事のため、時間的余裕がないから」が、フィリピンと中国では「もう十分に日本語ができるから」が最も高くなっています。また、中国では「育児のため、時間的余裕がないから」が他の国籍に比べ高くなっています。

在留資格別でみると、永住者では「もう十分に日本語ができるから」が最も高くなっています。定住者、技術・人文知識・国際業務、特定技能では「仕事のため、時間的余裕がないから」が最も高くなっています。

【国籍別】

単位：％

	調査数	もう十分に日本語ができる	日本語を学ばなくても不便を感じないから	育児のため、時間的余裕がないから	仕事のため、時間的余裕がないから	日本語教室の情報がないから	日本語教室の時間が合わないから	日本語教室の時間が遠くて通うことができないから	日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから	日本人と関わる機会がないから	母国に帰るつもりだから	日本語が難しいから	どうやって勉強したらいいかわからないから	学ぶ意欲が湧かないから	無回答
ブラジル	127	21.3	4.7	15.0	43.3	9.4	22.8	4.7	3.1	1.6	5.5	12.6	15.0	7.1	6.3
ベトナム	8	12.5	0.0	12.5	62.5	25.0	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
フィリピン	18	50.0	11.1	0.0	38.9	22.2	27.8	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6
中国	10	50.0	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0
インドネシア	7	14.3	28.6	14.3	85.7	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	28	32.1	17.9	0.0	35.7	14.3	10.7	7.1	7.1	3.6	0.0	10.7	17.9	10.7	3.6

【在留資格別】

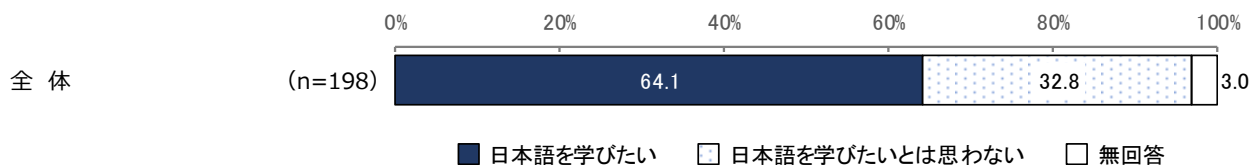
単位：％

	調査数	もう十分に日本語ができる	日本語を学ばなくても不便を感じないから	育児のため、時間的余裕がないから	仕事のため、時間的余裕がないから	日本語教室の情報がないから	日本語教室の時間が合わないから	日本語教室の時間が遠くて通うことができないから	日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから	日本人と関わる機会がないから	母国に帰るつもりだから	日本語が難しいから	どうやって勉強したらいいかわからないから	学ぶ意欲が湧かないから	無回答
永住者	108	40.7	12.0	13.0	37.0	7.4	21.3	4.6	2.8	1.9	4.6	10.2	10.2	5.6	1.9
定住者	54	9.3	0.0	14.8	53.7	13.0	22.2	3.7	3.7	1.9	5.6	9.3	13.0	9.3	7.4
技能実習	5	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0
技術・人文知識・国際業務	6	50.0	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
特定技能	9	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
家族滞在	7	0.0	14.3	42.9	28.6	42.9	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3
日本人または永住者の配偶者等	6	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	33.3
留学	－	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(質問12で「2. 学んだことがない」と答えた方および質問15で「2. 今は学んでいない」と答えた方)

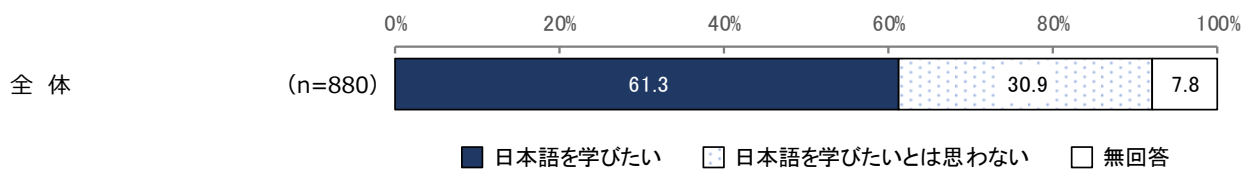
質問17 日本語を学びたいですか。(〇は1つ)

日本語を学びたいかについては、「日本語を学びたい」64.1%、「日本語を学びたいとは思はない」32.8%となっています。



【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より

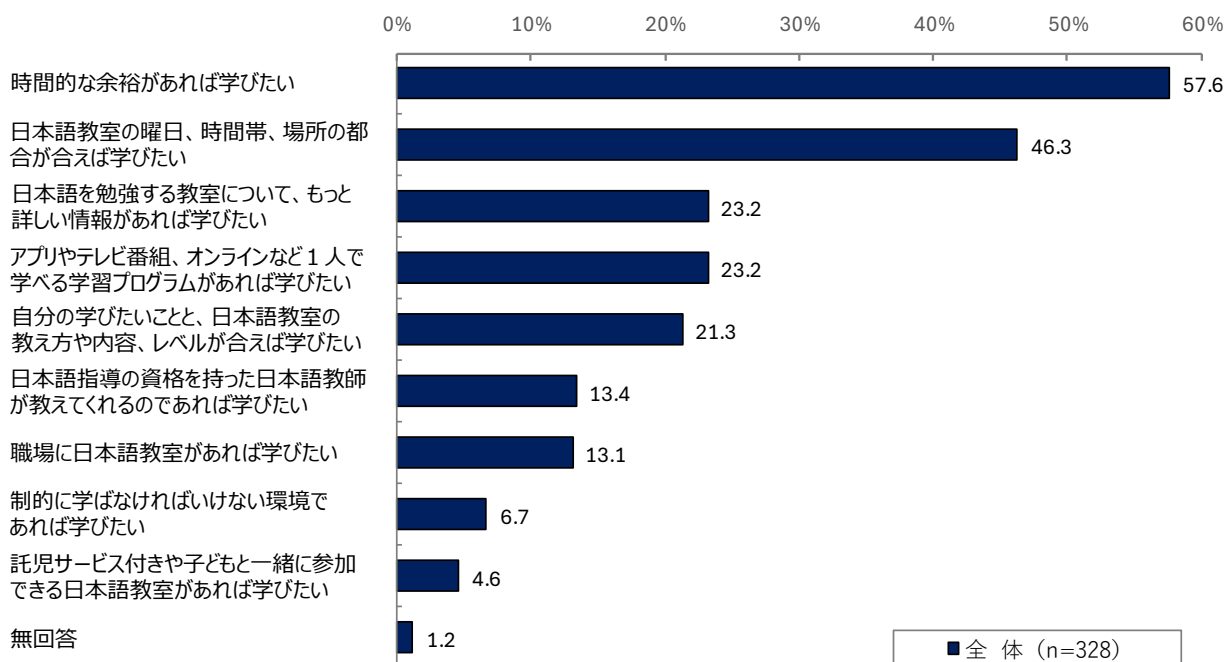
設問 日本語を学びたいですか。



(質問15で「1. 今も学んでいる」を答えた方および質問17で「1. 日本語を学びたい」と答えた方)

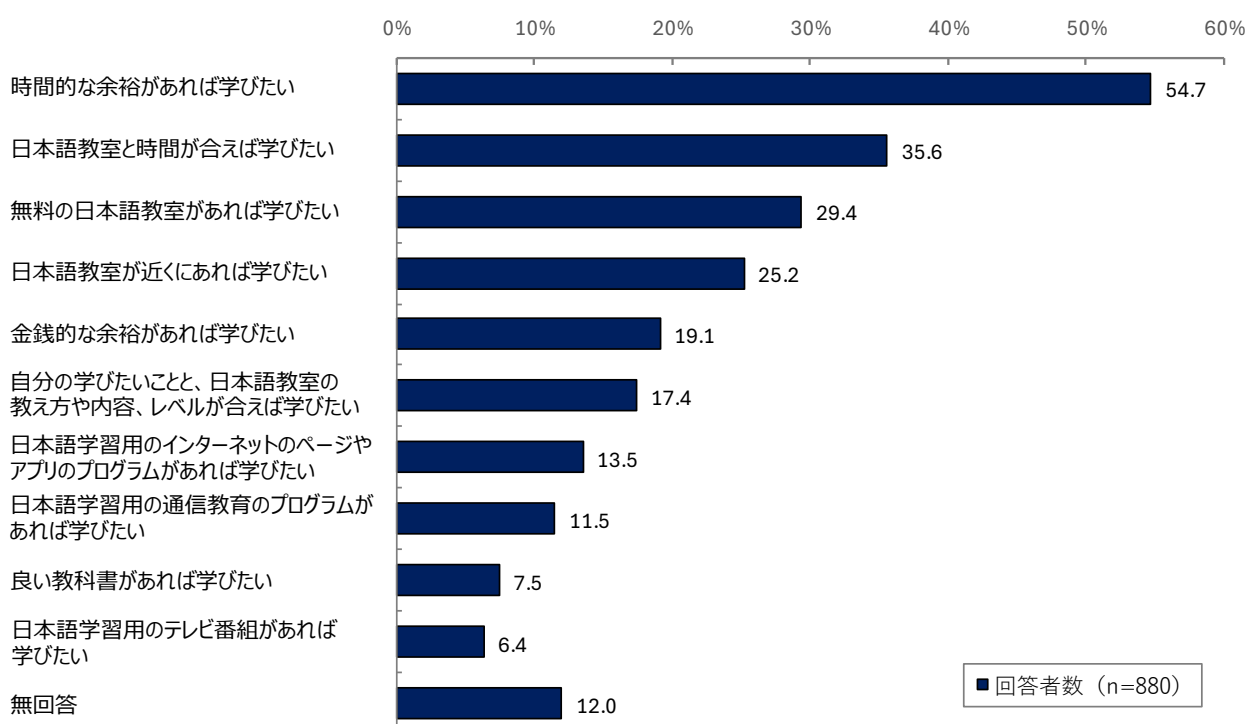
質問18 どのような環境があれば、日本語を学びたいですか。(〇は最も当てはまるもの3つまで)

日本語を学ぶために必要な環境については、「時間的な余裕があれば学びたい」57.6%が最も高く、以下「日本語教室の曜日、時間帯、場所の都合が合えば学びたい」46.3%、「日本語を勉強する教室について、もっと詳しい情報があれば学びたい」「アプリやテレビ番組、オンラインなど1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい」23.2%と続きます。



【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より

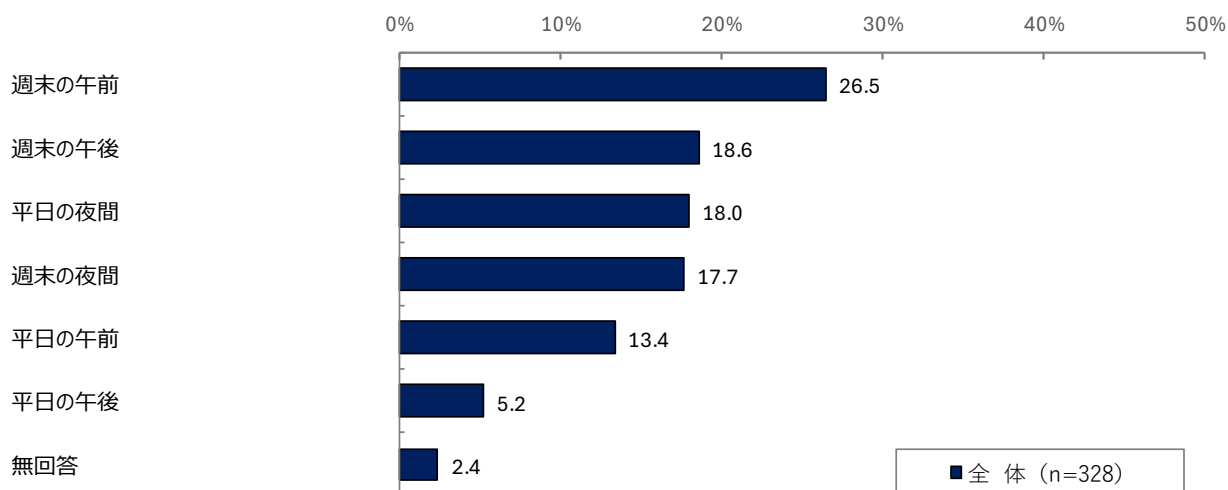
設問 どのような環境があれば、日本語を学びたいですか。



(質問15で「1. 今も学んでいる」を答えた方および質問17で「1. 日本語を学びたい」と答えた方)

質問19 日本語を学びたい時間帯はいつですか。(○は最も当てはまるもの1つ)

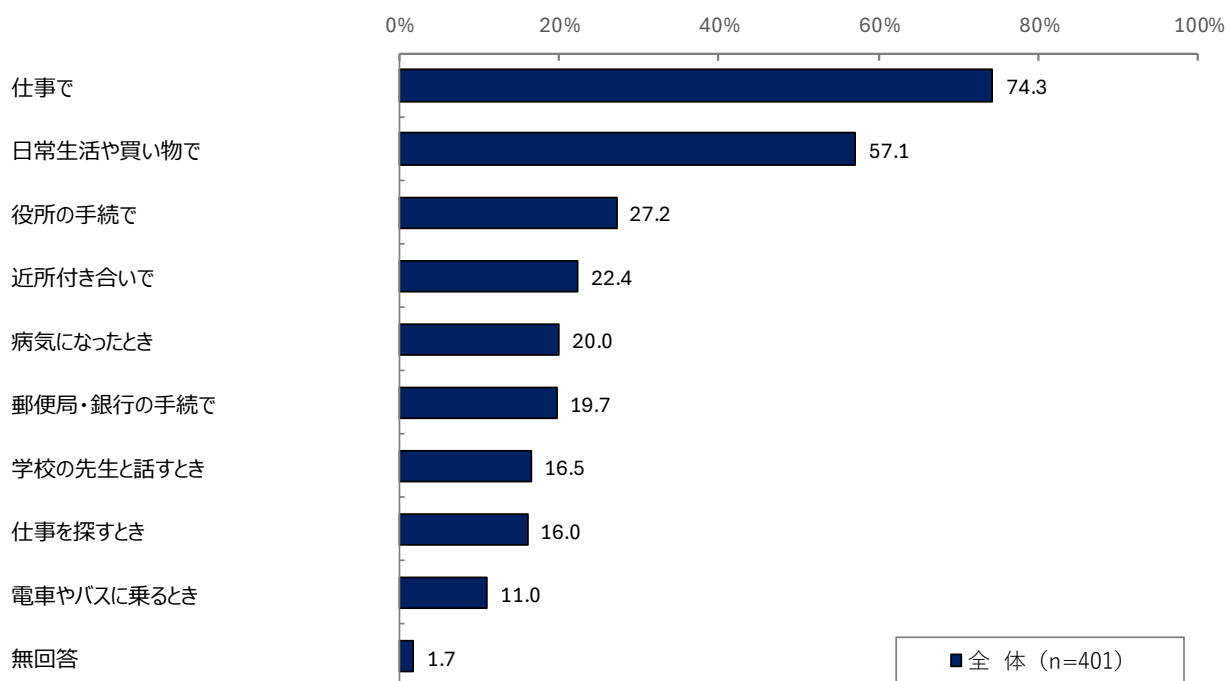
日本語を学びたい時間帯については、「週末の午前」26.5%が最も高く、以下「週末の午後」18.6%、「平日の夜間」18.0%、「週末の夜間」17.7%、「平日の午前」13.4%、「平日の午後」5.2%となっています。



(以下、全員の方)

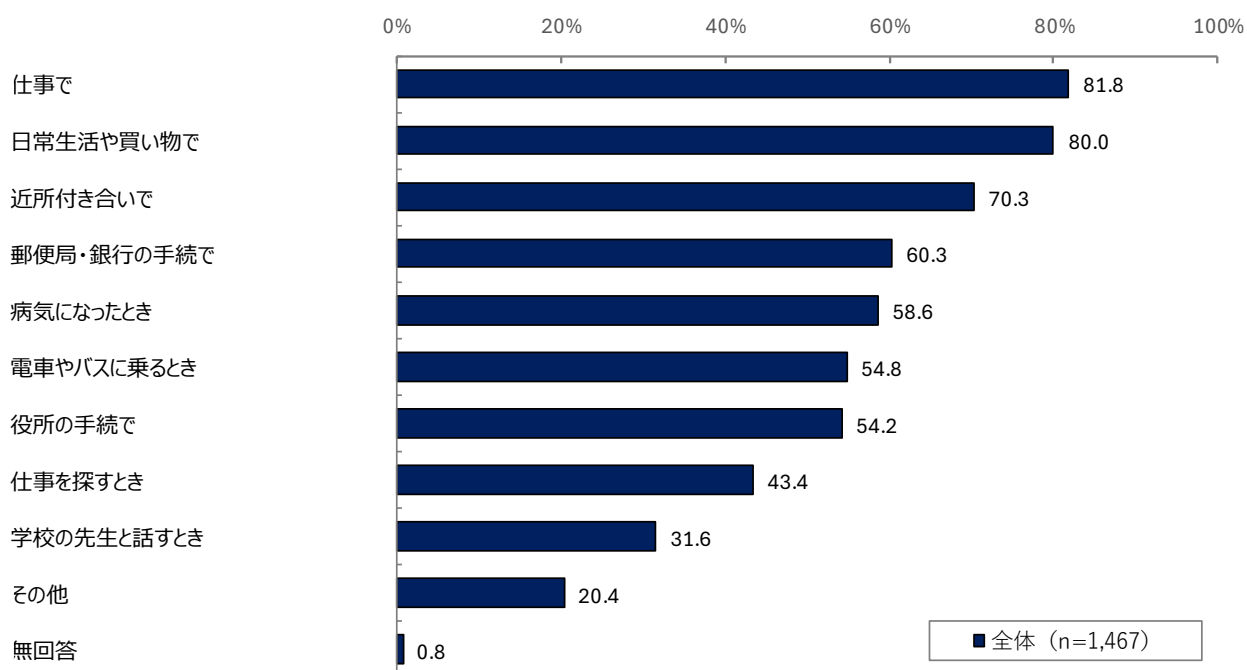
質問20 次のようなとき、あなたは日本語を使いますか。(○は最も当てはまるもの3つまで)

日本語を使用する場面については、「仕事で」74.3%が最も高く、以下「日常生活や買い物で」57.1%、「役所の手続きで」27.2%と続きます。



【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より

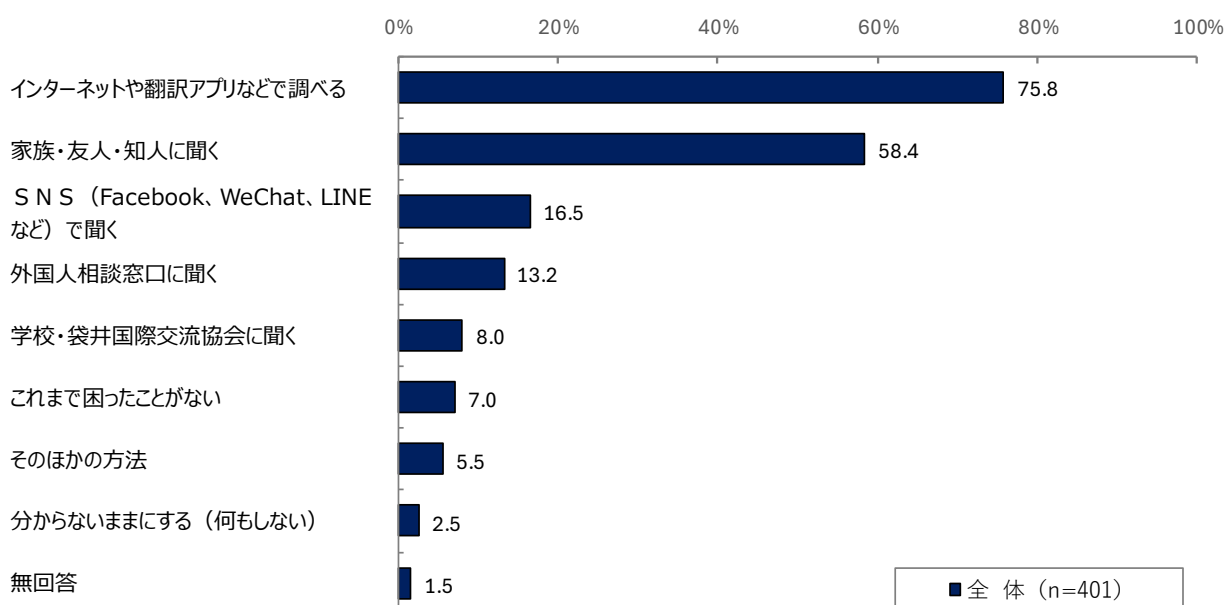
設問 次のようなとき、あなたは日本語を使いますか。



質問21 あなたは日本語が使えなくて困ったとき、どうしていますか。

(○は最も当てはまるもの3つまで)

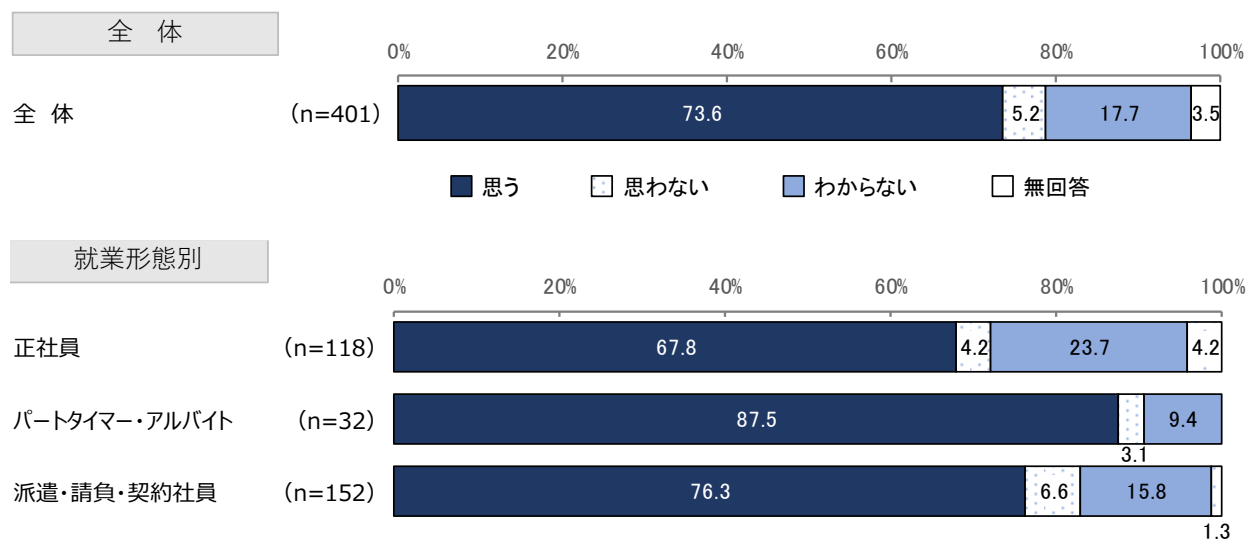
日本語が使えなくて困ったときの対処方法については、「インターネットや翻訳アプリなどで調べる」75.8%が最も高く、以下「家族・友人・知人に聞く」58.4%、「SNS (Facebook、WeChat、LINEなど) で聞く」16.5%と続きます。一方、「これまで困ったことがない」は7.0%となっています。



問22 日本語が上達すれば、満足する仕事に就くことができると思いますか。(〇は1つ)

日本語が上達すれば、満足する仕事に就くことができると思うかについては、「思う」73.6%、「思わない」5.2%、「わからない」17.7%となっています。

就業形態別でみると、いずれの就業形態も「思う」が最も高くなっています。特にパートタイマー・アルバイトは「思う」が他と比べて高くなっています。



※就業形態の「自分で会社をしている」「家族の会社で働いている」「内職をしている」は該当者が少ないため省略しました。

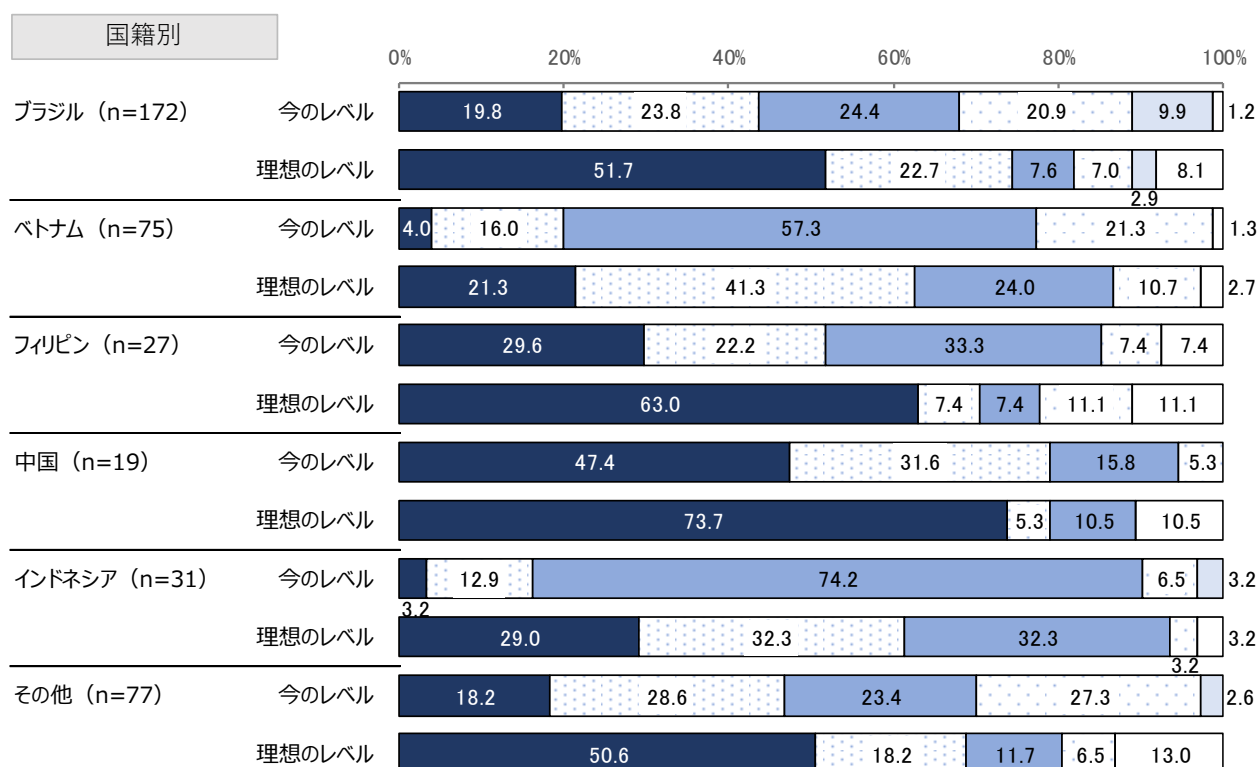
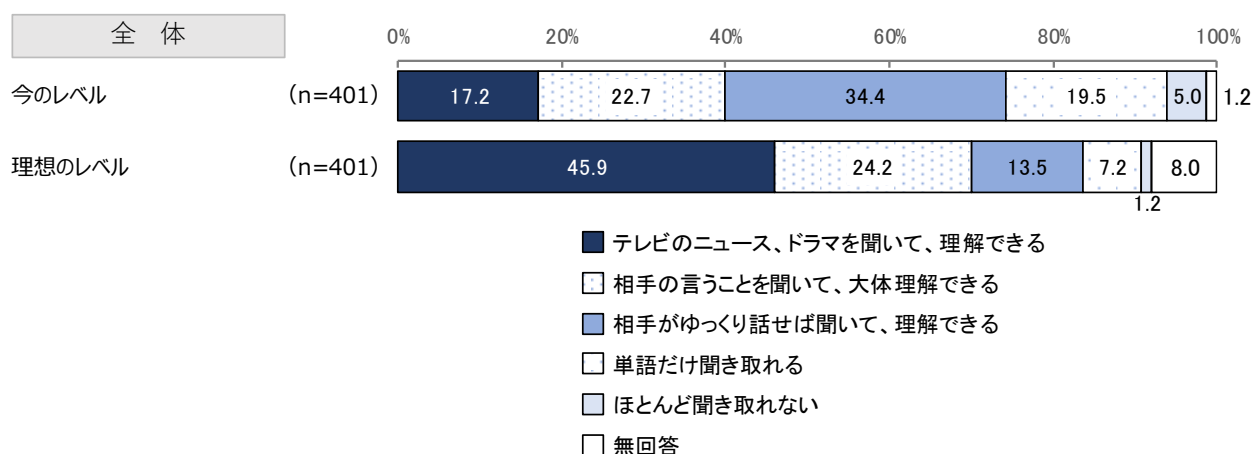
3 日本語の今のレベルと理想のレベルについて

〔聞くことについて〕

問23 あなたの今の日本語のレベルはどのくらいですか。また、あなたの理想とする日本語のレベルはどれですか。（○はそれぞれ1つ）

日本語を「聞く」能力について、今のレベルでは「相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる」34.4%が、理想のレベルでは「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」45.9%が最も高くなっています。

国籍別でみると、中国では今のレベル・理想のレベルとも「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」が他の国籍に比べて高くなっています。ベトナム、インドネシアでは今のレベルにおいて「相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる」が5割以上と高くなっています。ブラジルでは今のレベルにおいて「ほとんど聞き取れない」が他の国籍に比べて高くなっています。

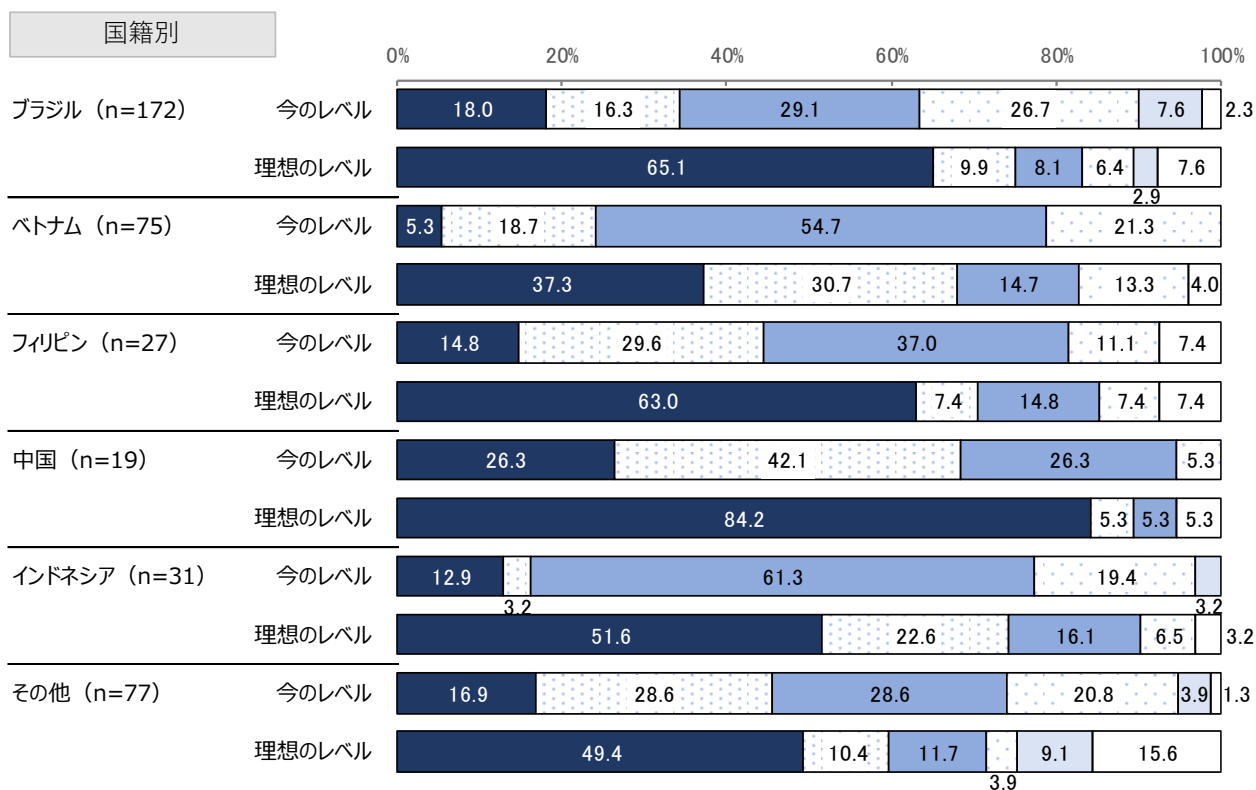
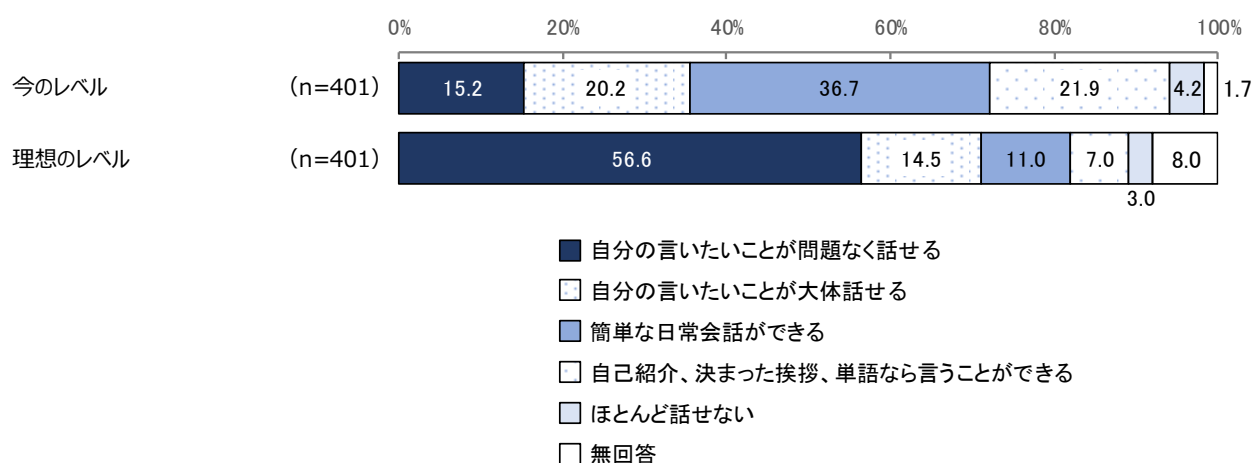


【話すことについて】

問24 あなたの今の日本語のレベルはどのくらいですか。また、あなたの理想とする日本語のレベルはどれですか。（○はそれぞれ1つ）

日本語を「話す」能力について、今のレベルでは「簡単な日常会話ができる」36.7%が、理想のレベルでは「自分の言いたいことが大体話せる」56.6%が最も高くなっています。

国籍別でみると、中国では今のレベル・理想のレベルとも「自分の言いたいことが問題なく話せる」が他の国籍に比べて高くなっています。ベトナム、インドネシアでは今のレベルにおいて「簡単な日常会話ができる」が5割以上と高くなっています。ブラジルでは今のレベルにおいて「ほとんど話せない」が他の国籍に比べて高くなっています。

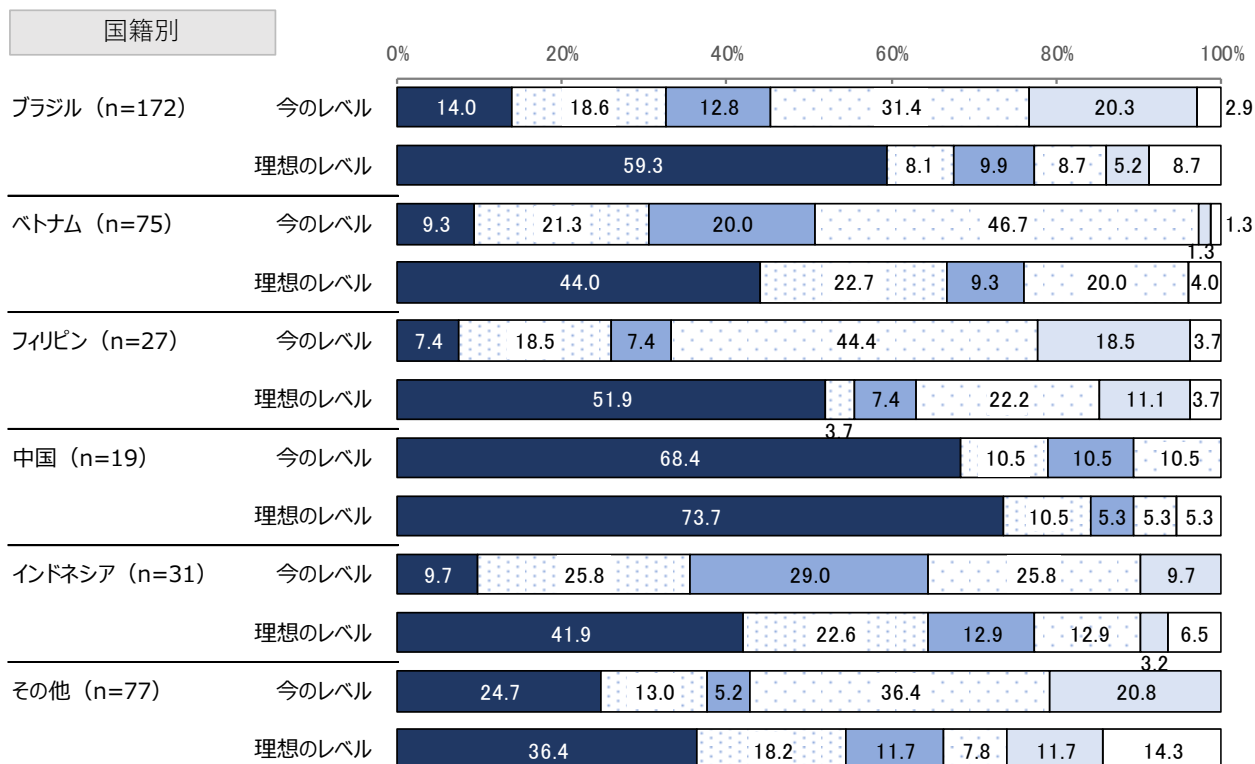
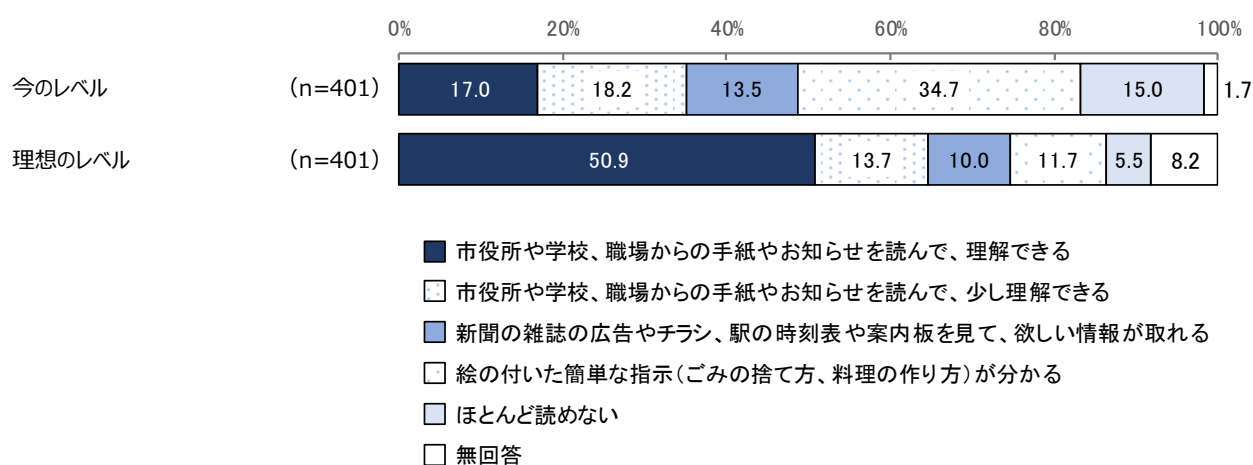


【読むことについて】

問25 あなたの今の日本語のレベルはどのくらいですか。また、あなたの理想とする日本語のレベルはどれですか。（○はそれぞれ1つ）

日本語を「読む」能力について、今のレベルでは「絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる」34.7%が、理想のレベルでは「市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」50.9%が最も高くなっています。

国籍別でみると、中国では今のレベル・理想のレベルとも「市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」が7割前後と他の国籍に比べて高くなっています。ブラジル、フィリピンでは今のレベルにおいて「ほとんど読めない」が2割前後と他の国籍に比べて高くなっています。

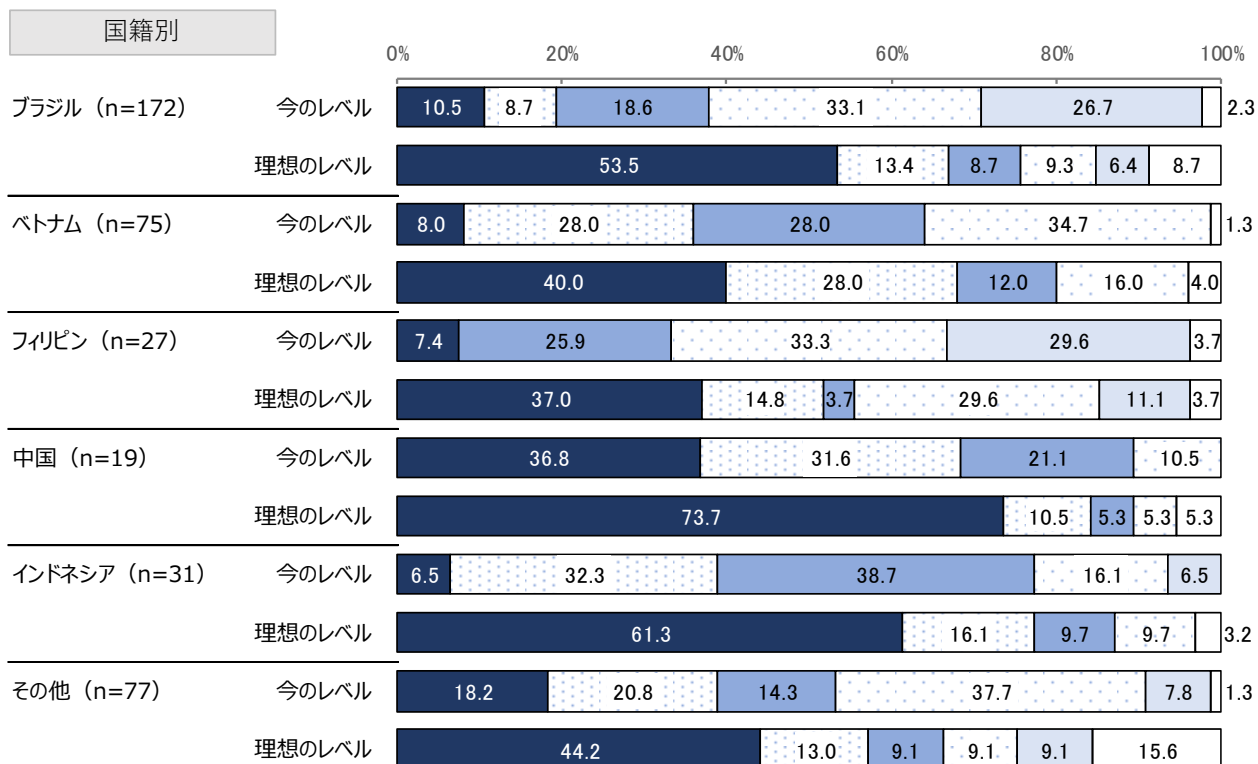
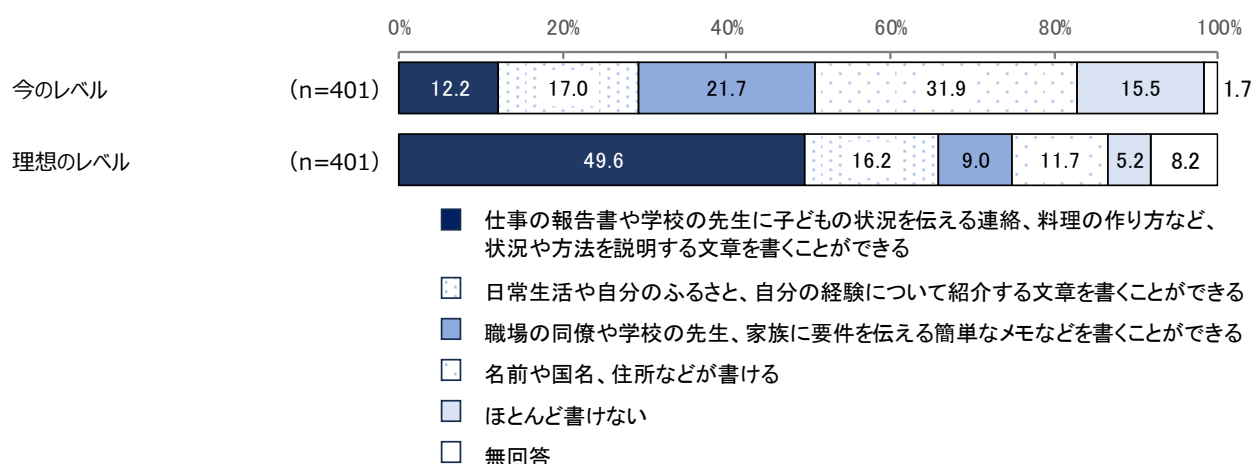


【書くことについて】

問26 あなたの今の日本語のレベルはどのくらいですか。また、あなたの理想とする日本語のレベルはどれですか。（○はそれぞれ1つ）

日本語を「書く」能力について、今のレベルでは「名前や国名、住所などが書ける」31.9%が、理想のレベルでは「仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる」49.6%が最も高くなっています。

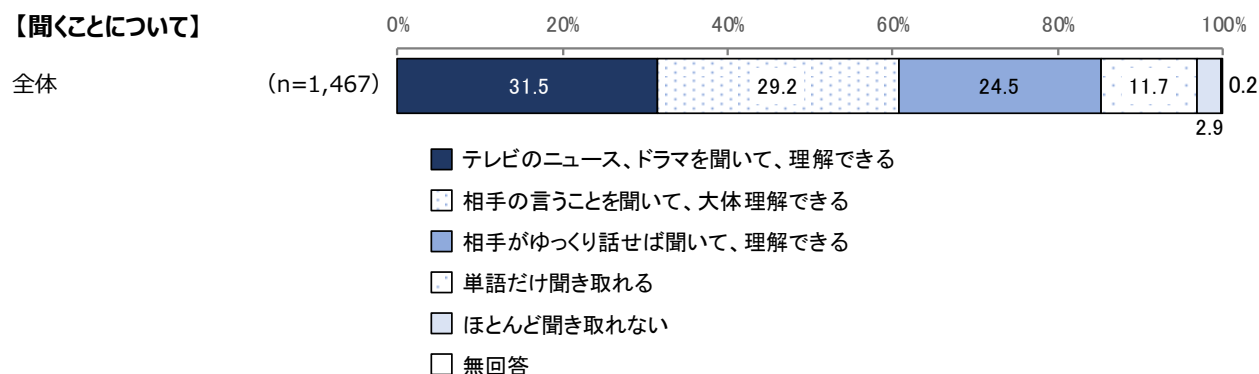
国籍別でみると、中国では今のレベル・理想のレベルとも「仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる」が他の国籍に比べて高くなっています。ブラジル、フィリピンでは今のレベルにおいて「ほとんど書けない」が3割近くと他の国籍に比べて高くなっています。



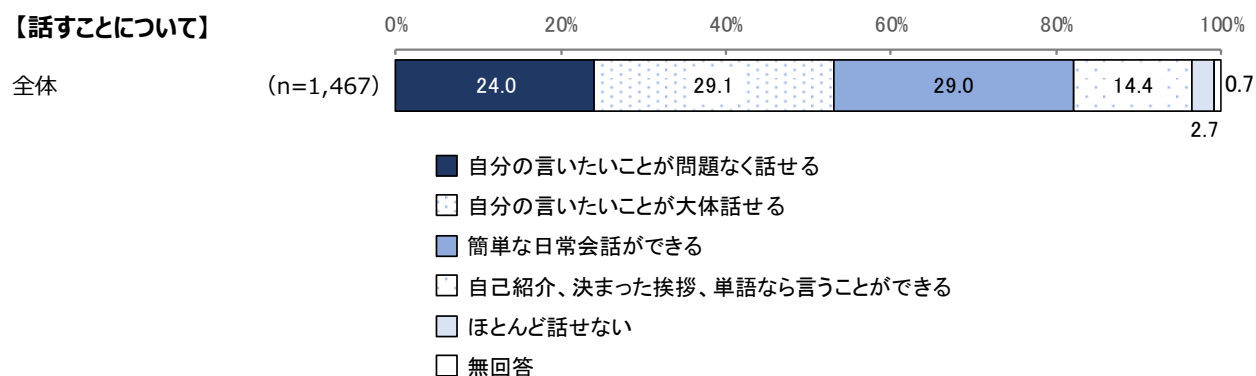
【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より

設問 あなたは日本語がどのくらいできますか。

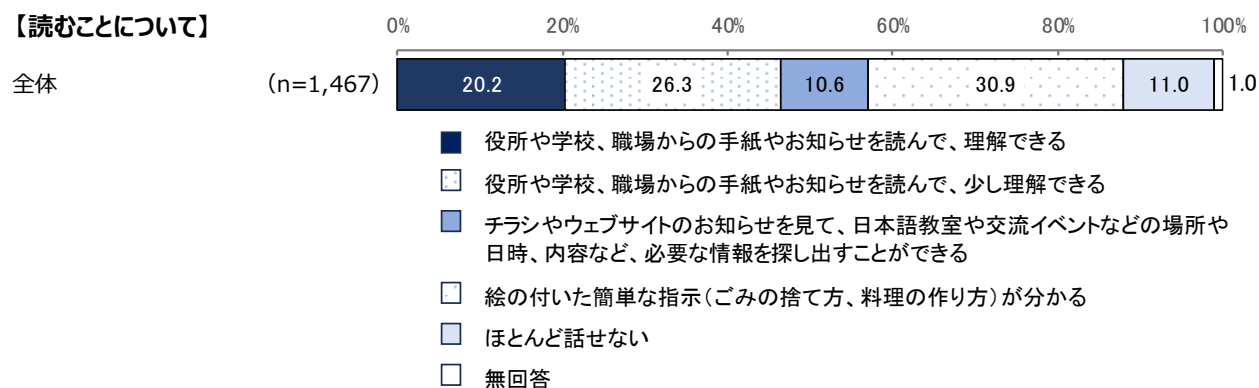
【聞くことについて】



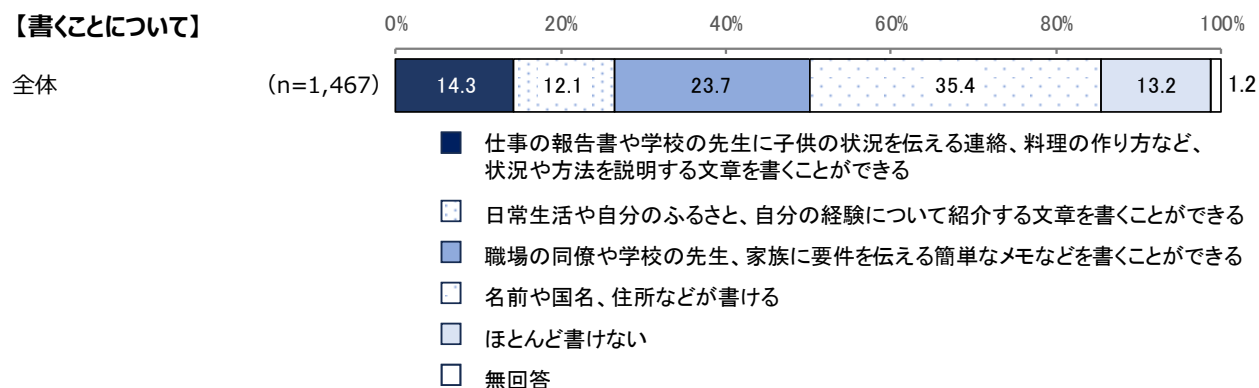
【話すことについて】



【読むことについて】



【書くことについて】



【日本で生まれた方の今のレベルについて】

日本で生まれた方について、今のレベルでは、聞く・話す・読む・書くいずれにおいても最も高いレベルが5割以上を占めています。一方、全体に比べて割合は低いものの、聞く・書くことについては「ほとんど聞きとれない・書けない」が3.8%、話すことについては「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」11.5%、読むことについては「絵の付いた簡単な指示が分かる」が15.4%となっています。

【聞くことについて】

日本で生まれた

(n=26)



- ☒ テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる
- ☐ 相手の言うことを聞いて、大体理解できる
- ☐ 相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる
- ☐ 単語だけ聞き取れる
- ☐ ほとんど聞き取れない
- ☐ 無回答

【話すことについて】

日本で生まれた

(n=26)



- ☒ 自分の言いたいことが問題なく話せる
- ☐ 自分の言いたいことが大体話せる
- ☐ 簡単な日常会話ができる
- ☐ 自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる
- ☐ ほとんど話せない
- ☐ 無回答

【読むことについて】

日本で生まれた

(n=26)



- ☒ 市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる
- ☐ 市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる
- ☐ 新聞の雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる
- ☐ 絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かる
- ☐ ほとんど読めない
- ☐ 無回答

【書くことについて】

日本で生まれた

(n=26)



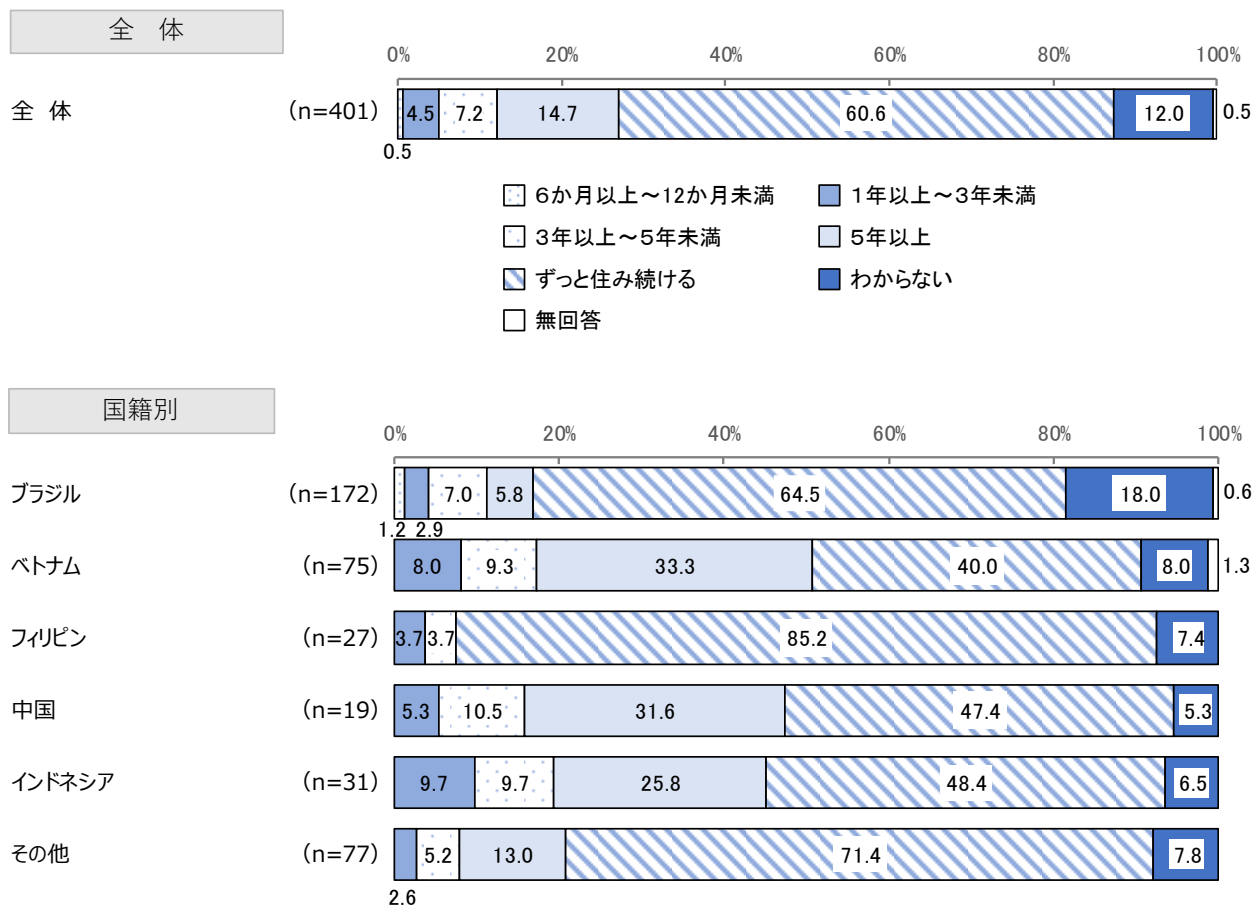
- ☒ 仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる
- ☐ 日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる
- ☐ 職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる
- ☐ 名前や国名、住所などが書ける
- ☐ ほとんど書けない
- ☐ 無回答

4 あなたの今後について

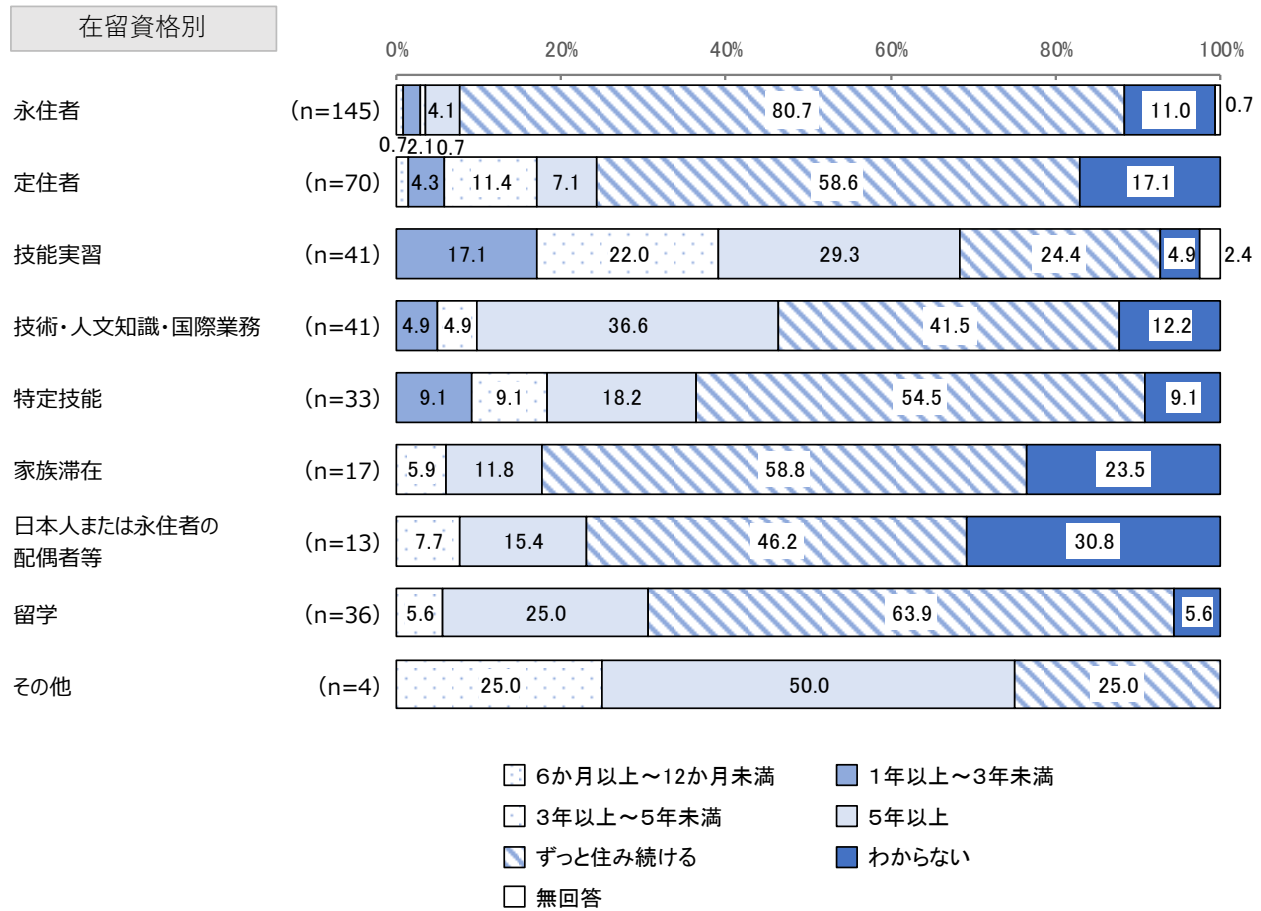
質問27 あなたはこれから、日本でどのくらい生活する予定ですか。(〇は1つ)

日本在住予定期間については、「ずっと住み続ける」60.6%が最も高く、以下「5年以上」14.7%、「わからない」12.0%と続きます。

国籍別でみると、いずれの国籍も「ずっと住み続ける」が最も高くなっていますが、特にフィリピンでは8割と高くなっています。ベトナム、中国、インドネシアでは「5年以上」が3割前後とやや高くなっています。

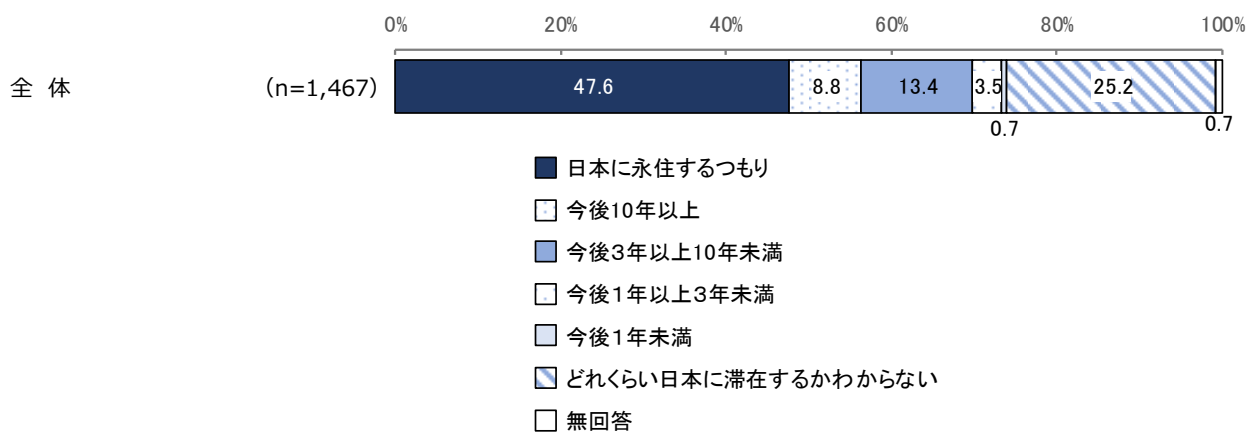


在留資格別でみると、概ね「ずっと住み続ける」が最も高くなっていますが、技能実習では「5年以上」が最も高くなっています。



【参考】『令和6年度 静岡県 多文化共生基礎調査』より

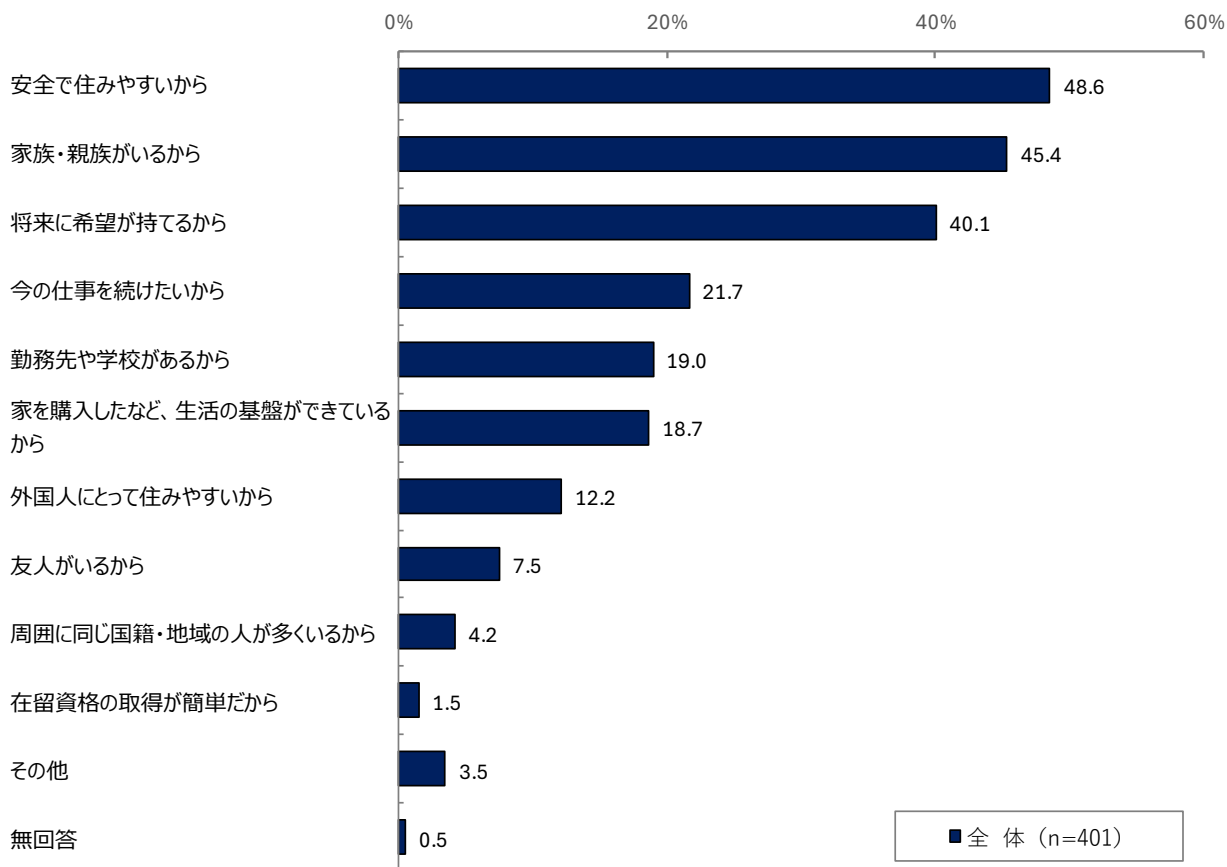
設問 今からどのくらいの期間、日本で生活する予定ですか。



質問28 あなたがこれからも日本で生活する理由は次のどれですか。

(○は最も当てはまるもの3つまで)

日本在住理由については、「安全で住みやすいから」48.6%が最も高く、以下「家族・親族がいるから」45.4%、「将来に希望が持てるから」40.1%と続きます。



国籍別でみると、ブラジルでは「安全で住みやすいから」が、ベトナムとインドネシアでは「将来に希望が持てるから」が、フィリピンと中国では「家族・親族がいるから」が最も高くなっています。

在留資格別でみると、永住者と家族滞在では「家族・親族がいるから」が、定住者と日本人または永住者の配偶者等では「安全で住みやすいから」が、技能実習、技術・人文知識・国際業務、特定技能、留学では「将来に希望が持てるから」が最も高くなっています。

【国籍別】

単位：％

	調査数	家族・親族がいるから	友人がいるから	周囲に同じ国籍・地域の人が多くいるから	勤務先や学校があるから	外国人にとって住みやすいから	安全で住みやすいから	今の仕事を続けたいから	将来に希望が持てるから	基盤ができていから生活の家を購入したなど、生活の	在留資格の取得が簡単だから	そのほか	無回答
ブラジル	172	59.3	7.0	0.6	19.8	9.9	65.1	10.5	27.9	29.7	2.3	4.1	0.6
ベトナム	75	28.0	9.3	2.7	12.0	9.3	33.3	48.0	58.7	5.3	0.0	0.0	1.3
フィリピン	27	74.1	7.4	7.4	33.3	7.4	48.1	25.9	14.8	18.5	0.0	0.0	0.0
中国	19	42.1	5.3	0.0	26.3	10.5	26.3	21.1	31.6	26.3	5.3	5.3	0.0
インドネシア	31	16.1	0.0	12.9	25.8	48.4	32.3	25.8	61.3	6.5	0.0	3.2	0.0
その他	77	33.8	10.4	10.4	14.3	7.8	39.0	18.2	51.9	10.4	1.3	6.5	0.0

【在留資格別】

単位：％

	調査数	家族・親族がいるから	友人がいるから	周囲に同じ国籍・地域の人が多くいるから	勤務先や学校があるから	外国人にとって住みやすいから	安全で住みやすいから	今の仕事を続けたいから	将来に希望が持てるから	家を購入したなど、生活の基盤ができていから	在留資格の取得が簡単だから	そのほか	無回答
永住者	145	68.3	10.3	1.4	21.4	7.6	49.7	13.8	17.9	37.9	1.4	3.4	0.0
定住者	70	54.3	2.9	1.4	21.4	10.0	65.7	8.6	34.3	15.7	1.4	5.7	1.4
技能実習	41	7.3	2.4	12.2	19.5	17.1	26.8	43.9	58.5	4.9	0.0	4.9	2.4
技術・人文知識・国際業務	41	26.8	9.8	9.8	26.8	12.2	29.3	46.3	53.7	7.3	2.4	2.4	0.0
特定技能	33	9.1	6.1	9.1	9.1	33.3	45.5	42.4	57.6	3.0	0.0	0.0	0.0
家族滞在	17	76.5	0.0	5.9	11.8	5.9	41.2	29.4	41.2	0.0	0.0	5.9	0.0
日本人または永住者の配偶者等	13	76.9	7.7	0.0	15.4	7.7	84.6	15.4	38.5	15.4	7.7	0.0	0.0
留学	36	8.3	13.9	2.8	11.1	13.9	50.0	2.8	86.1	0.0	2.8	0.0	0.0
その他	4	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0

Ⅲ 調査結果のまとめと今後の方向性

1 調査回答者の属性について

回答者の年齢は、「20～39歳」が6割近くを占めています。また、国籍はブラジル出身者が最も多く、約4割を占めています。在留資格では、「永住者」と「定住者」を合わせると約5割となります。さらに、出生地については、全体では、「日本以外の国で生まれた」が約9割ですが、16～19歳の年齢層では約6割が日本で生まれたと回答しています（P.2～4、質問1～4）。また、日本在住歴については、「15年以上」が37.9%と高い（P.5、質問5）ですが、袋井市の居住年数別人口（令和6年4月1日時点）では「16年以上」が9.9%であることから日本在住歴の長い回答者が多かったことがうかがえるため、回答に偏りがある可能性があります。

2 仕事について

「仕事をしている」と答えた方は約8割であり、そのうち「派遣・請負・契約社員」が48.6%、次いで「正社員」が37.7%となっています。平成30年度調査と比較すると、正社員数は約12%増加しています。現在の仕事について「満足している」と答えた方は78.9%、「希望にあった仕事である」と答えた方は72.8%となっています。さらに、今後も日本で働きたいか聞いたところ、96.8%が「思う」と回答しています（P.7～10、質問6～10）。

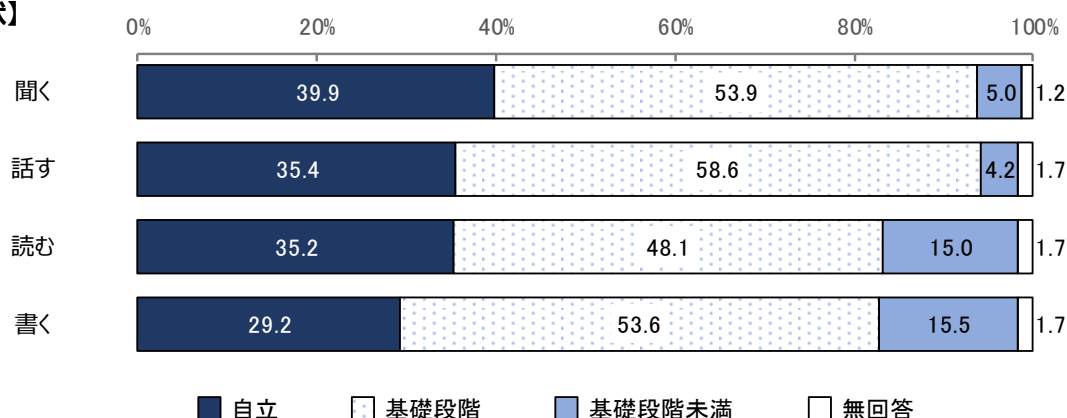
3 日本語学習について

日本語について、「学んでいた、または学んでいる」と答えた方は77.8%ですが、年齢が上がるほど学んでいる割合は減少しています（P.11、質問12）。また、「学んだことがない」「今は学んでいない」と答えた方でも、「日本語を学びたい」と回答した方は約6割となっています（P.19、質問17）。日本語を学んでいない理由では、「仕事のため、時間的余裕がないから」が43.4%と最も高くなっています（P.17、質問16）。さらに、日本語が上達すれば満足する仕事に就くことができると思うか聞いたところ、「思う」73.6%が最も高くなっています（P.23、質問22）。

4 日本語能力について

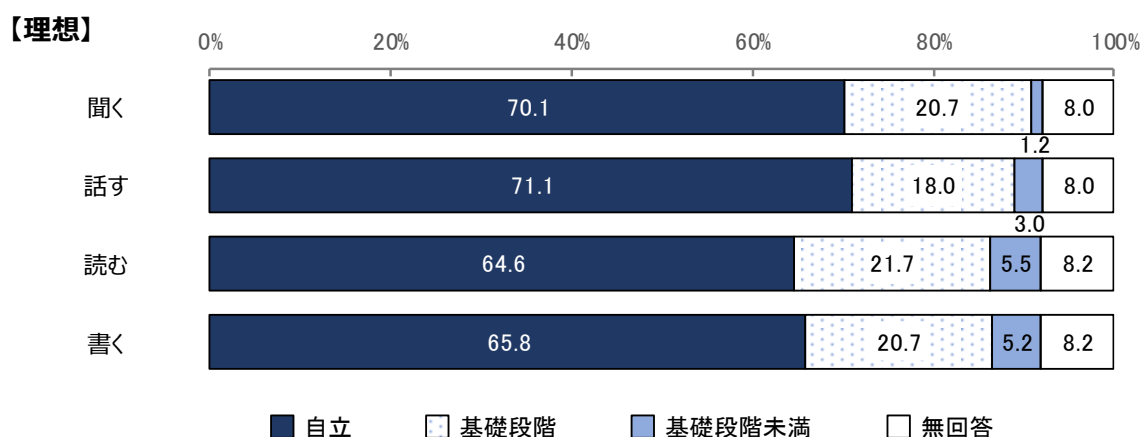
日本語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの技能別の自己評価を、「日本語教育の参照枠」（2021年文化庁）の各レベルを参考に、それぞれの項目を「自立した言語使用者」、「基礎段階の言語使用者」、「基礎段階未満」の3つに分類すると、【現状】においては、聞く＞話す＞読む＞書くの順に日本語レベルが低下しています。（P.24～27、質問23～26）

【現状】



また、日本で生まれた方であっても、【現状】を見てみると、「聞く」「話す」「読む」「書く」全てにおいて、「自立した言語使用者」である割合は6割程度となっています（P.28）。

一方、【理想】においては、全てにおいて、最も高いレベルである「自立した言語使用者」を理想としており、特に「話す」「聞く」においては、約7割がより高いレベルを理想としています（P.24～27、質問23-26）。



5 将来の在住予定について

日本在住予定期間を聞いたところ、「ずっと住み続ける」が約6割と最も高くなっています（P.30、質問27）。これからも日本で生活する理由については、「安全で住みやすいから」48.6%が最も多く、以下「家族・親族がいるから」45.4%、「将来に希望が持てるから」40.1%が上位に挙がっています（P.32、質問28）。

6 終わりに（今後の方向性）

本市では、先述のとおり、身分資格を持つ外国人住民が多く居住しているため、市や袋井国際交流協会などが実施する日本語教室においては、日常生活に寄り添った日本語の習得を支援しています。

しかし、調査結果によると、外国人住民の中には、日本語を学びたいと思いつつも、学ぶことができていない方が多く存在していることが分かりました。さらに、日本で生まれ育ったにも関わらず、日本語に不安を抱える若年層もいることが推測されます。これらの背景には、日本語教育の機会や環境が十分に整っていない現状があると考えられます。さらに、「袋井市人口ビジョン2060」（令和6年袋井市）では、2060年には7人に1人が外国人となると想定されており、今後、様々な国籍、年代、在留資格を持つ人が増加すると見込まれるため、柔軟な対応が求められています。

今後においては、引き続き、日本語の習得を希望する全ての外国人住民に対し、適切な教育機会を提供していくとともに、日本人住民に対し、「やさしい日本語」や翻訳アプリなどの効果的なツールの活用を促すことで、外国人と日本人がお互いに寄り添いながらコミュニケーションを取ることができる多文化共生の実現を目指していきます。

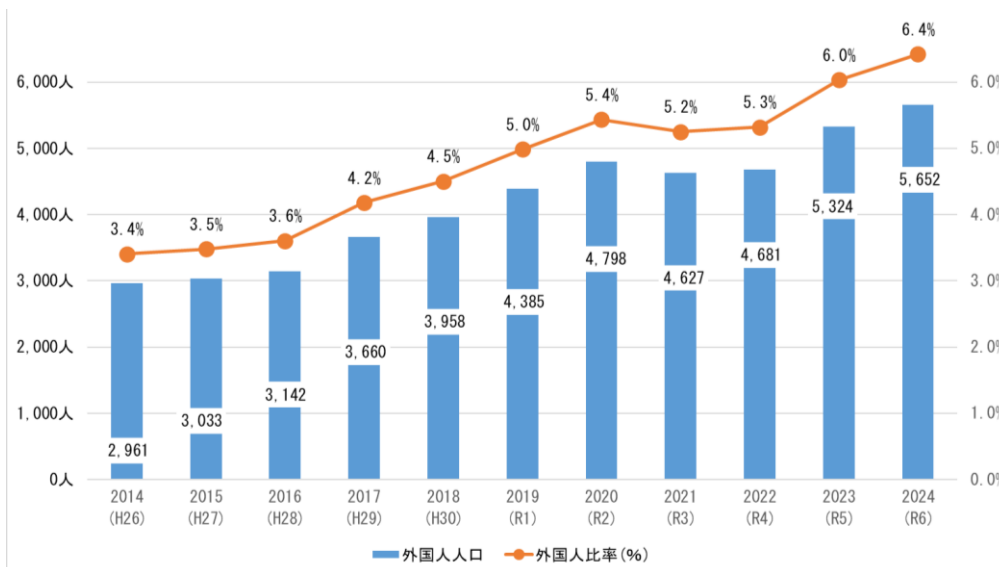
Ⅳ 考察

袋井市 日本語使用等状況調査結果からの考察

静岡県立大学国際関係学部 高畑 幸

2024年4月1日時点で袋井市の外国人人口は5,652人で、2014年から2024年の10年間に1.9倍となった（図表1）。この伸び率において袋井市は浜松市（1.37倍）や磐田市（1.67倍）を上回り、県内一位である（図表2）。また、総人口に占める外国人比率は6.4%に達し、菊川市、吉田町、湖西市に次いで第4位である（図表3）。さらには、袋井市の人口ビジョンでは2060年時点での目標人口を8万人と設定している。同年、外国人人口は1万1,400人、総人口に占める外国人比率は14.3%（7人に1人）になると予測されている（図表4）。したがって、現在も今後も袋井市において外国人の存在感がさらに高まることは確かである。

【図表1】袋井市の外国人市民人口・外国人割合の推移（各年4月1日時点）



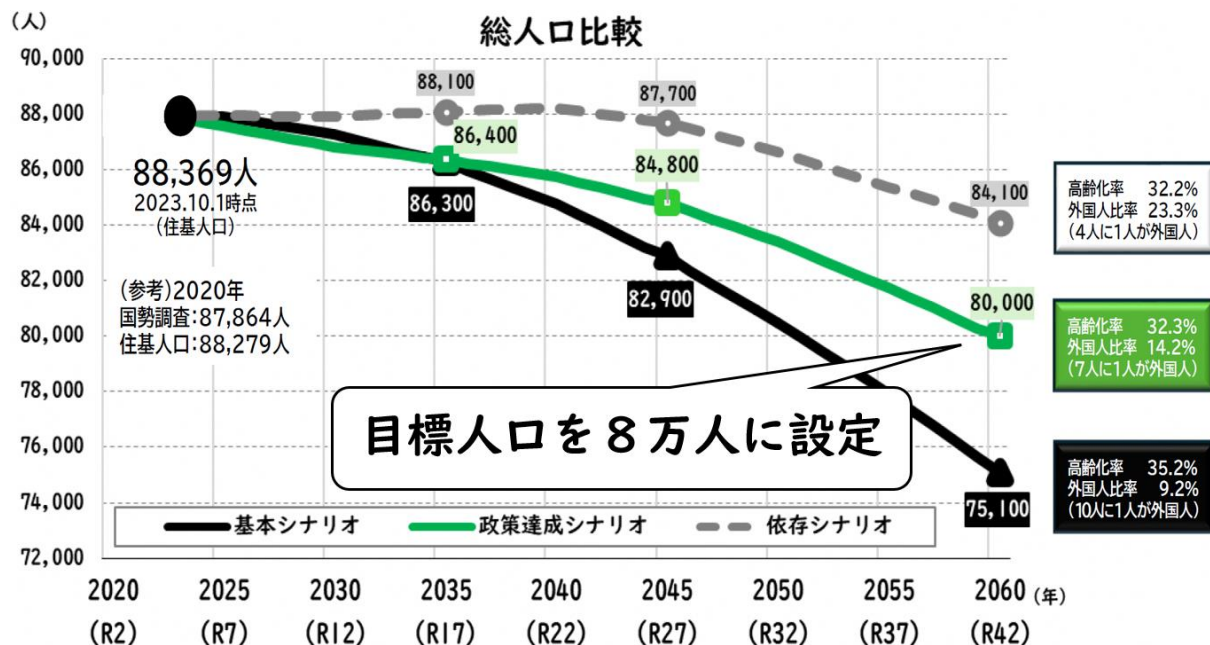
【図表2】県内における外国人人口伸率（各年4月1日時点）

2014～2024外国人人口伸率			
袋井市	190.9%	掛川市	154.9%
浜松市	137.2%	湖西市	157.6%
磐田市	167.1%	菊川市	164.7%

【図表3】県内における外国人人口比率（令和6年4月1日時点）

順位	市町名	外国人	総人口	比率
1	菊川市	4,056	47,450	8.55%
2	吉田町	2,355	29,139	8.08%
3	湖西市	4,226	57,793	7.31%
4	袋井市	5,652	88,047	6.42%
5	牧之原市	2,571	42,758	6.01%

【図表 4】2060年の人口推移（袋井市人口ビジョン2060より）



1. 「日本人の配偶者や子孫」と「技能移民」

過去に日本全体で外国人が増えた時期は2つある。第一期が「日系人増加期」で1990年の改正入管法改正による日系人（特にブラジル人）定住者が急増した。同時期にはフィリピンや中国から結婚移民（日本人との結婚による定住者）が増えた。両者は日本国籍者との血縁および配偶関係による来住で、職業選択は自由で永住資格を取りやすい。これらをまとめて本稿では「日本人の配偶者や子孫」と呼ぶ。第二期が「技能移民増加期」で、2017年の技能実習法施行、2019年の改正入管法施行により、いずれも有期雇用（3～5年）の技能実習生¹と特定技能の労働者が増加した。また、2010年代から留学生の増加に伴い大卒の専門職者（在留資格「技術・人文知識・国際業務」）も増えている。彼ら／彼女らをまとめて本稿では「技能移民」と呼ぶ。

さて、袋井市の国籍別人口ではブラジル人、ベトナム人、フィリピン人、中国人の順で、中でもブラジル人は54.8%を占める。袋井市では上記の第一期で外国人が増加したことがわかる。また、年齢階層をみるとブラジル・フィリピン・中国は40代が多いがベトナムは20代が多い。居住年数別では「6年以上」が33%（そのうち11年以上は17%）、「3年未満」が半数以上であり「定住層」と「流動層」に二分される。上記の第一期に来住した人々が定住層で現在は加齢・高齢化の時期にあり、第二期に来住した技能移民たちは有期雇用の若者たちが常に入れ替わってきた。しかし、技能移民の定住化も進行中である。2019年の改正入管法施行により、特定技能の労働者は条件付で定住と家族の呼び寄せが可能となった。また、大卒の専門職は在職中ならば期限を問わず滞在でき、来日時から家族帯同が可能である。従って、第一期と第二期の来住者たちが定住と加齢・高齢化の道を歩みつつある。

¹ 本稿執筆時（2024年10月）は技能実習制度だが、2027年度までに育成就労制度へと変わる予定。

2. 回答者の人物像と日本語使用

次に、調査結果から回答者を類型化して、各類型での日本語使用実態と日本語学習へのアプローチを考えてみたい。回答者の在留資格（質問3）は、ブラジル・フィリピン・中国は永住者の割合が高く、ベトナムは技術・人文知識・国際業務（以下、技人国と略す）、インドネシアは技能実習が多かった。前者は「日本人の配偶者や子孫」、後者は「技能移民」にあたる。前者は、学歴も日本語能力も不問で定住できるため、来日時に体系的に日本語学習をしておらず、在日歴は長くても日本語の読み書きができない人を多く含む。後者については、技人国のベトナム人回答者の多さが本調査の特徴である。また、在留資格「技人国」（エンジニア等、大卒の専門職者）や「技能」（調理師等）等を持ち働く人に帯同する家族の在留資格が「家族滞在」である。彼ら／彼女らは回答者の4.2%とまだ少ないが（報告書3ページ）、これから増加する可能性があり、さらには日本語教育から取り残される懸念がある。以下に4つの人物像を示す。

【人物像1】ブラジル人のパート労働者（在留資格は永住）。30年前に来日した日系3世で、長らく自動車工場に働いていたが60歳を過ぎ、身体が弱ったので仕事を減らしてパートでスーパーの品出しをしている。来日後、働いて家族を養うことで精いっぱいだったので、日本語を学ぶ余裕はなかった。日本で学校に通った子どもたちが日本語の書類等の代読・代筆をしてくれたので不便は無かった。

【人物像2】ベトナム人のエンジニア（在留資格は技人国）。日本で理工系の大学を卒業して日本企業（製造業）で正社員として働く。仕事では英語と日本語を使う。職場の同僚や客先での会話に日本語を使う。職務上も必要なので、空き時間に日本語能力を向上させたい。

【人物像3】インドネシア人の専業主婦（在留資格は家族滞在）。夫が日本企業に就職したため、2歳の娘とともに1年前に来日した。来日前は会社員だったが、現在は家事と育児をしており、自分のキャリアが生かせず残念に感じている。日本語を学びたいという気持ちはあるが、子どもが小さくて目を離せない上、日本語の文字が難しいため負担感がある。

【人物像4】ミャンマー人の技能実習生（在留資格は技能実習）。2年前に来日し、介護施設で働いている。仕事では常に日本語を使うため、日本語会話と読み書きの能力をアップさせたい。1年後には在留資格を特定技能に変えるための試験を受けて、介護以外の仕事に移りたい。今後、結婚したら、夫がいる場所（日本国外の可能性もある）に移動するため、そのときは日本語を生かした仕事をできるよう、日本語学習をがんばりたい。

各人の働き方や将来展望により日本語学習の必要性和動機づけが違ってくるだろう。これら4人に対して想定されるアプローチの例は以下の通りである。人物像1には生涯学習的に日本語会話と読み書きをゆっくり教えて日本語で地域住民と交流する機会を作る。人物像2には週末に対面で行う地域日本語教室、またはオンラインで平日の夜や週末に行う日本語教室で中級以上の指導を行う。人物像3には、平日に対面で行う地域日本語教室に通うよう勧め、子連れで参加できるサポートを整えて日本語会話を少しずつ教えながら子育て相談に乗ったり、子育てサークルにつなげて社会参加へ導く。人物像4は日本語学習へのモチベーションが高いので、（シフト制の可能性もある）勤務時間に合わせてオンラインまたは対面での日本語教室への参加を勧めたい。

3. 袋井市における日本語教育の課題

人口構造の大転換と技術の進展は、目の前の課題を少しずつ解決しながらも、長期的に見ると袋井市の住民たちがパラレルワールドのように、二つの世界が並行的に存在する事態になる懸念もある。市内に日本語が主となる住民グループと、ポルトガル語・英語・ベトナム語・インドネシア語等の複数言語を使う住民グループの分断が起きたり、市内に複数のエスニックタウンが起きたり、「日本語」の概念が大きく変わるかもしれない。以下にいくつかの課題を挙げる。

第一に、日本語の語彙、文法、用法の変化である。多国籍・多言語の労働者が共に働く工場は既に多くある。また、日本で知り合った外国人同士が結婚して日本で定住し、家庭内で日本語を共通言語として生活し、子どもを育てている。家庭内に日本語母語話者がいないので、語彙や表現の数は限られるだろう。子どもたちは日本の学校に通えば正しい日本語の4技能を習得する機会はあるが、個人差は大きい。もはや、日本語が大きく変わる（語彙の減少、動詞の活用の変化等）ことは避けられない。本来、言葉が時代とともに変わるのは自然なことなので、日本語教育機会を増やして「正しい日本語」に近づける努力はしつつも、変化を記録・研究する必要もあるだろう。

第二に、翻訳・通訳アプリの高性能化に伴う異文化接触の接触機会の減少である。大変便利で、言葉の壁が解決できる技術である。本調査でも、日本語がわからなくて困った時にアプリを使って翻訳をするという回答が75.8%であった（報告書22ページ）。もはや、日本語を学ばなくても日常生活はできる。一方、「日本語がわからない」という理由で日本語母語話者に質問したり助けを求める必要がなくなり、両者の接触機会は減る可能性がある。

第三に、日本語学習から社会参加への接続の必要性である。日本で就職した夫や妻に帯同して来日する家族や、仕事をやめた・減らした人達など、家に閉じこもりがちな外国人は常に存在する。母国の情報や家族との会話はSNSで常に可能となる時代だからこそ、家の外に出て地域に暮らす人たちと交流する場を作りたい。そこから各学習者の必要に応じて、就労支援や、医療・福祉につなげることができる。もちろん、仕事や家庭の事情で外に出て学ぶ時間を作りにくい人たちも常にいるので、そのような人たちはオンラインでの日本語学習を入口とし、その後の「実践」的位置づけで、1か月から数か月に一度、対面での地域日本語教室に参加するという方法もある。

4. おわりに

袋井市で「7人に1人が外国人」となる2060年に向けて多文化共生施策と「公用語としての日本語」の教育が進められている。大きな社会変動の時期だが、住民は常に人間であり納税者であるという事実は変わらない。そのひとりひとりが健康で文化的な生活をし、能力を生かして社会で活躍できるよう、地域の日本語教室を通じて公用語の日本語をいずれのレベルかでも身につけて地域へ参加し、市内で言語や文化による「分断」が最小限にとどめられるよう、外国人も周りの日本人も、少しずつ努力をしていくことができれば良いと思う。

V 資料（調査票）

やさしい日本語

袋井市 日本語使用等 状況 調査に答えてください

みなさんの暮らしやすい生活のために必要な調査です

袋井市に住む16歳以上の外国人1,500人に調査しています。

この調査をする理由は、あなたの日本語への考えをよく聞いて、袋井市に住んでいるすべての人にとって暮らしやすいまちをつくるためです。

仕事などで忙しいと思いますが、協力してください。（10分程度で回答できます。）

◇この調査は、外国語とやさしい日本語の紙と一緒に送りました。

わかる言葉の紙を使ってください。答える方法は、下書いてある「回答方法は2種類あります」のとおりです。

◇答えてくれたことは、この調査のためだけに使います。

警察や在留資格の更新とは関係ありません。あなたの名前を書く必要はありません。安心して答えてください。

令和6年7月

袋井市長 大場 規之

回答方法は2種類あります

① スマートフォンで回答



かんたん
おすすめ

右のQRコードから
回答してください。



② 郵便で回答



答えるときは、**あてはまる番号に○を書い**
てください。調査の封筒の中に小さな
封筒があります。答えを書いた調査の紙
は、その**小さな封筒でポストに入れて送り**
ます。

※切手はいりません。住所や名前も
書きません。

調査に答えるときに気を付けてほしいこと

◇調査の封筒の表を見てください。封筒に書いている名前の人が答えてください。

◇答えに悩んだときは、あなたの考えに一番近い番号を選んでください。

◇7月31日（水曜日）までに回答してください。



【あなたのことを教えてください】

質問1 あなたは、いま何歳ですか。（○は1つだけ書いてください）

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 16～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 |
| 6. 60～69歳 | 7. 70歳以上 | | | |

質問2 あなたの国籍はどれですか。（○は1つだけ書いてください）

- | | | |
|---|-----------|----------|
| 1. ブラジル | 2. ベトナム | 3. フィリピン |
| 4. 中国 | 5. インドネシア | 6. ネパール |
| 7. 2つの国籍（ と ） | | |
| 8. その他（ ） | | |

質問3 あなたの在留資格はどれですか。在留カードを見て答えてください。（○は1つだけ書いてください）

- | | | |
|---------------------------------|-------------|---------|
| 1. 永住者 | 2. 定住者 | 3. 技能実習 |
| 4. 技術・人文知識・国際業務 | 5. 日本人の配偶者等 | 6. 特定技能 |
| 7. 家族滞在 | 8. 永住者の配偶者等 | 9. 留学 |
| 10. その他（ ） | | |

質問4 あなたは日本で生まれましたか。（○は1つだけ書いてください）

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 日本で生まれた | 2. 日本以外の国で生まれた |
|------------|----------------|

質問5 あなたはどのくらい日本で生活していますか。日本から離れた期間がある場合は、その期間を抜いて答えてください。（○は1つだけ書いてください）

- | | | |
|--------------|-----------------|----------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月以上～12か月未満 | 3. 1年以上～3年未満 |
| 4. 3年以上～5年未満 | 5. 5年以上～10年未満 | 6. 10年以上～15年未満 |
| 7. 15年以上 | | |

質問6 あなたは仕事をしていますか。または、学校に行っていますか。（○は最も当てはまるもの1つだけ書いてください）

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 仕事をしている | → 質問7から答えてください。
質問11から答えてください。
（質問7～10は答えない） |
| 2. 仕事を探している | |
| 3. 仕事をしていない・家のことをしている | |
| 4. 学校に行っている | |

質問7 あなたの仕事は、次のどれですか。（○は最も当てはまるもの1つだけ書いてください）

- | | | |
|-------------------------------|------------------|---------------|
| 1. 正社員 | 2. パートタイマー・アルバイト | 3. 派遣・請負・契約社員 |
| 4. 自分で会社をしている | 5. 家族の会社で働いている | |
| 6. 内職（会社から頼まれた仕事を家でやること）をしている | | |

質問8 今の仕事は、あなたの希望にあった仕事ですか。（○は1つだけ書いてください）

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 希望にあった仕事である |
| 2. 希望にあった仕事ではない（今、希望にあう仕事を探している） |
| 3. 希望にあった仕事ではない（今、希望にあう仕事を探していない） |

質問9 今の仕事の満足度は、次のどれですか。（○は1つだけ書いてください）

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 十分満足している | 2. おおむね満足している |
| 3. まだまだ不満だ | 4. 満足していない |

質問10 これからも、あなたは日本で働きたいと思いますか。（○は1つだけ書いてください）

- | | |
|-------|---------|
| 1. 思う | 2. 思わない |
|-------|---------|

質問11 あなたが、今通っている学校または最後に通った学校（最終学歴）は、次のどれですか。（○は1つだけ書いてください）

- | | | | |
|---------------------|-------|--------------|----------|
| 1. 中学校 | 2. 高校 | 3. 外国人学校（高校） | 4. 日本語学校 |
| 5. 短期大学・専門学校・大学・大学院 | | | |
| 6. その他（ ） | | | |

【日本語学習について教えてください】

質問12 あなたは日本語を学んだことがありますか。（○は1つだけ書いてください）

- | |
|--|
| 1. 学んでいた、または学んでいる → 質問13から答えてください。 |
| 2. 学んだことがない → 質問16から答えてください。（質問13～15は答えない） |

質問13 あなたは、どうやって日本語を学びましたか、または学んでいますか。（当てはまる番号すべてに○を書いてください）

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 独学で（教科書やテレビ等） | 2. 独学で（インターネットやアプリ等） |
| 3. 通信教育で | 4. 日本語学校で |
| 5. 地域で行われている日本語教室で | |
| 6. 企業で行われている日本語教室で | |
| 7. 家族（配偶者・子ども・親・その他）から学んでいる | 8. 友達から学んでいる |
| 9. 職場のコミュニケーションから学んでいる | 10. 周りの会話を聞いて学んでいる |

質問14 日本語を学んでいた、または学んでいるのはなぜですか。（○は最も当てはまるもの3つまで書いてください）

1. 日本で生活をしていくために必要だから
2. 日本人との付き合いを広げるため
3. 仕事で必要だから
4. より良い条件の仕事を探すため
5. 進学や勉強のため
6. 日本のアニメ・マンガ・JPOP・ファッション等への関心があるから
7. 日本の歴史・文学・芸術等への関心があるから
8. 人から学ぶように勧められたから

質問15 今も日本語を学んでいますか（○は1つだけ書いてください）

1. 今も学んでいる → 質問18 から答えてください。（質問16～17 は答えない）
2. 今は学んでいない → 質問16 から答えてください。

質問16 今、日本語を学んでいないのはなぜですか。（○は最も当てはまるもの3つまで書いてください）

1. もう十分に日本語ができるから
2. 日本語を学ばなくても不便を感じないから
3. 育児のため、時間的余裕がないから
4. 仕事のため、時間的余裕がないから
5. 日本語教室の情報が無いから
6. 日本語教室の時間が合わないから
7. 日本語教室が遠くて通うことができないから
8. 日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから
9. 日本人と関わる機会がないから
10. 母国に帰るつもりだから
11. 日本語が難しいから
12. どうやって勉強したらいいかわからないから
13. 学ぶ意欲が湧かないから

質問17 日本語を学びたいですか。（○は1つだけ書いてください）

1. 日本語を学びたい → 質問18 から答えてください。
2. 日本語を学びたいとは思わない → 質問20 から答えてください。（質問18～19 は答えない）

質問18 どのような環境があれば、日本語を学びたいですか。（〇は最も当てはまるものの3つまで書いてください）

1. 時間的な余裕があれば学びたい
2. 日本語を勉強する教室について、もっと詳しい情報があれば学びたい
3. 日本語教室の曜日、時間帯、場所の都合が合えば学びたい
4. 自分の学びたいことと、日本語教室の教え方や内容、レベルが合えば学びたい
5. 日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい
6. アプリやテレビ番組、オンラインなど1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい
7. 職場に日本語教室があれば学びたい
8. 託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい
9. 強制的に学ばなければいけない環境であれば学びたい

質問19 日本語を学びたい時間帯はいつですか。（〇は最も当てはまるものの1つだけ書いてください）※平日…月曜日から金曜日までのことです。週末…土曜日、日曜日のことです。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 平日の午前 | 2. 平日の午後 | 3. 平日の夜間 |
| 4. 週末の午前 | 5. 週末の午後 | 6. 週末の夜間 |

質問20 次のようなとき、あなたは日本語を使いますか。（〇は最も当てはまるものの3つまで書いてください）

- | | | |
|------------|---------------|---------------|
| 1. 近所付き合いで | 2. 電車やバスに乗るとき | 3. 日常生活や買い物で |
| 4. 役所の手続で | 5. 郵便局・銀行の手続で | 6. 仕事を探すとき |
| 7. 仕事で | 8. 病気になったとき | 9. 学校の先生と話すとき |

質問21 あなたは日本語が使えなくて困ったとき、どうしていますか。（〇は最も当てはまるものの3つまで書いてください）

1. 家族・友人・知人に聞く
2. 学校・袋井国際交流協会に聞く
3. SNS（Facebook、WeChat、LINEなど）で聞く
4. インターネットや翻訳アプリなどで調べる
5. 外国人相談窓口（☐）に聞く
6. 分からないままにする（何もしない）
7. そのほかの方法（☐）
8. これまで困ったことがない

質問22 日本語が上達すれば、満足する仕事に就くことができると思いますか。（○は1つだけ書いてください）

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

【あなたの日本語の今のレベルと理想のレベルについて教えてください】

◇聞くこと  について

質問23 あなたの今の日本語のレベルはどのくらいですか。また、あなたの理想とする日本語のレベルはどれですか。（○はそれぞれ1つずつ書いてください）

いまのレベル	理想のレベル
1. テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる 2. 相手の言うことを聞いて、大体理解できる 3. 相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる 4. 単語だけ聞き取れる 5. ほとんど聞き取れない	1. テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる 2. 相手の言うことを聞いて、大体理解できる 3. 相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる 4. 単語だけ聞き取れる 5. ほとんど聞き取れない

◇話すこと  について

質問24 あなたの今の日本語のレベルはどのくらいですか。また、あなたの理想とする日本語のレベルはどれですか。（○はそれぞれ1つずつ書いてください）

いまのレベル	理想のレベル
1. 自分の言いたいことが問題なく話せる 2. 自分の言いたいことが大体話せる 3. 簡単な日常会話ができる 4. 自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる 5. ほとんど話せない	1. 自分の言いたいことが問題なく話せる 2. 自分の言いたいことが大体話せる 3. 簡単な日常会話ができる 4. 自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる 5. ほとんど話せない

◇読むこと について

質問25 あなたの今の日本語のレベルはどのくらいですか。また、あなたの理想とする日本語のレベルはどれですか。(○はそれぞれ1ずつ書いてください)

いまのレベル	理想のレベル
1. 市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる 2. 市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる 3. 新聞の雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる 4. 絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる 5. ほとんど読めない	1. 市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる 2. 市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる 3. 新聞の雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる 4. 絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる 5. ほとんど読めない

◇書くこと について

質問26 あなたの今の日本語のレベルはどのくらいですか。また、あなたの理想とする日本語のレベルはどれですか。(○はそれぞれ1ずつ書いてください)

いまのレベル	理想のレベル
1. 仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる 2. 日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる 3. 職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる 4. 名前や国名、住所などが書ける 5. ほとんど書けない	1. 仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる 2. 日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる 3. 職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる 4. 名前や国名、住所などが書ける 5. ほとんど書けない

【あなたの今後について教えてください】

質問27 あなたはこれから、日本でどのくらい生活する予定ですか。（○は最も当てはまるもの1つだけ書いてください）

- | | | |
|--------------|-----------------|--------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月以上～12か月未満 | 3. 1年以上～3年未満 |
| 4. 3年以上～5年未満 | 5. 5年以上 | 6. ずっと住み続ける |
| 7. わからない | | |

質問28 あなたがこれからも日本で生活する理由は次のどれですか。（○は最も当てはまるもの3つまで書いてください）

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. 家族・親族がいるから | 2. 友人がいるから |
| 3. 周囲に同じ国籍・地域の人が多くいるから | 4. 勤務先や学校があるから |
| 5. 外国人にとって住みやすいから | 6. 安全で住みやすいから |
| 7. 今の仕事を続けたいから | 8. 将来に希望が持てるから |
| 9. 家を購入したなど、生活の基盤ができているから | |
| 10. 在留資格の取得が簡単だから | |
| 11. その他（ ） | |

お忙しい中、ご協力ありがとうございました！

この調査のことで聞きたいことがある人は連絡してください。

袋井市 企画部 多文化共生推進課 多文化共生係
〒437-8666 袋井市新屋1丁目1番地の1
電話 ☎ 44-3138
メールアドレス ✉ tabunka@city.fukuroi.shizuoka.jp



令和 6 年度
袋井市日本語使用等状況調査
結果報告書

令和 7 年 3 月
発行／袋井市 企画部 多文化共生推進課 多文化共生係
〒437-8666 袋井市新屋一丁目 1 番地の 1
電 話 : 0538-44-3138
F A X : 0538-43-2132